

2 0 1 9 （令和元）年度

花園大学学則

花園大学学則

昭和24年 4 月 1 日
制定

改正	平成17年 4 月 1 日	平成18年 4 月 1 日
	平成19年 4 月 1 日	平成20年 4 月 1 日
	平成21年 4 月 1 日	平成22年 4 月 1 日
	平成23年 4 月 1 日	平成24年 4 月 1 日
	平成25年 4 月 1 日	平成26年 4 月 1 日
	平成27年 4 月 1 日	平成27年 5 月28日
	平成28年 4 月 1 日	平成28年 6 月 1 日
	平成29年 4 月 1 日	平成29年 6 月 1 日
	平成30年 4 月 1 日	平成31年 4 月 1 日
	令和元年 7 月24日	

第 1 章 大学の目的綱領

(目的)

第 1 条 本学は高等の知識を授け、専門の学術を教授研究し、仏教精神によって人格を陶冶し、人類文化に貢献する人物の養成を目的とする。

(実践禅学の開設)

第 2 条 本学は前条に即し、実践禅学を開設する。

第 2 章 学部及び学科の組織

(学部)

第 3 条 本学に文学部、社会福祉学部を設ける。

2 本学に大学院を置く。大学院の学則は別に定める。

3 本学に留学生別科を置く。留学生別科の規程は別に定める。

(学科)

第 4 条 文学部に仏教学科、日本史学科、日本文学科の 3 学科を置く。

社会福祉学部社会福祉学科、臨床心理学科、児童福祉学科の 3 学科を置く。

2 大学や前項に定める各学部各学科の学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れ方針は、別表第 1 に定める。

第 3 章 授業科目

(学部学科の授業科目及び単位数)

第 5 条 文学部及び社会福祉学部の授業科目は、その内容により、必修科目、選択科目及び基礎教育科目とする。

2 前項に定める各授業科目及びその単位数は、別表第 2 に定める。

第 6 条 削除

第 7 条 削除

第 8 条 削除

第 8 条の 2 削除

第 9 条 削除

第 9 条の 2 削除

第 10 条 削除

第 10 条の 2 削除

第 10 条の 3 削除

(教員の免許状授与の所要資格)

第 11 条 教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に定める所要の単位を修得しなければならない。

2 本学の学部の学科において当該所要資格を取得できる教員の免許状の種類は、次の表に掲げると

おりとする。

(表)

文学部

仏教学科

中学校教諭 1 種免許状 (宗教)

高等学校教諭 1 種免許状 (宗教)

日本史学科

中学校教諭 1 種免許状 (社会)

高等学校教諭 1 種免許状 (地理歴史)

高等学校教諭 1 種免許状 (公民)

日本文学科

中学校教諭 1 種免許状 (国語)

高等学校教諭 1 種免許状 (国語)

高等学校教諭 1 種免許状 (書道)

社会福祉学部

社会福祉学科

高等学校教諭 1 種免許状 (公民)

高等学校教諭 1 種免許状 (福祉)

臨床心理学科

高等学校教諭 1 種免許状 (福祉)

特別支援学校教諭 1 種免許状

知的障害者に関する教育の領域

肢体不自由者に関する教育の領域

病弱者に関する教育の領域

児童福祉学科

幼稚園教諭 1 種免許状

養護教諭 1 種免許状

(資格等に関する授業科目及び単位数)

第11条の2 本学において教員免許状取得に関する科目として開設する授業科目及び単位数は別表第3に定める。

第12条 本学に学校図書館法(昭和28年法律第185号)第5条第2項の規定に基づき「学校図書館司書教諭資格に関する科目」を置く。授業科目及び単位数は別表第4に定める。

第13条 削除

第13条の2 本学社会福祉学部社会福祉学科及び臨床心理学科に社会福祉士及び介護福祉士法(昭和62年法律第30号)第7条及び社会福祉士及び介護福祉士法施行規則(昭和62年厚生省令第49号)第5条の規定に基づき「社会福祉士受験資格に関する科目」を置く。授業科目及び単位数は別表第6に定める。

第13条の3 削除

第14条 本学に博物館法(昭和26年法律第285号)第5条第1項第1号及び博物館法施行規則(昭和30年文部省令第24号)第1条の規定に基づき「博物館学芸員資格に関する科目」を置く。授業科目及び単位数は別表第7に定める。

第15条 本学に臨済宗妙心寺派教師及び教師補規程に基づき「妙心寺派教師資格に関する科目等」を置く。授業科目、単位数及びその他については別表第8に定める。

第15条の2 本学に図書館法施行規則(昭和25年文部省令第27号)第5条第2項の規定に基づき「司書講習相当科目」を置く。授業科目及び単位数は別表第9に定める。

第15条の3 精神保健福祉士法(平成9年法律第131号)第7条及び精神保健福祉士法施行規則(平成10年厚生省令第11号)第5条の規定に基づき「精神保健福祉士受験資格に関する科目」を置く。授業科目及び単位数は別表第10に定める。

第15条の4 本学に「認定心理士資格に関する科目」を置く。授業科目及び単位数は別表第11に定め

る。

第15条の5 本学に「健康運動実践指導者資格に関する科目」を置く。授業科目及び単位数は別表第12に定める。

第15条の6 本学社会福祉学部児童福祉学科に「保育士資格に関する科目」を置く。児童福祉学科において、保育士資格を得ようとする者は、卒業要件を充足し、かつ児童福祉法施行規則（昭和23年厚生省令第11号）第6条の2第1項第3号に従って、別表第13に定める単位を修得しなければならない。

第15条の7 本学に「スクールソーシャルワーカーに関する科目」を置く。授業科目及び単位数は別表第14に定める。

第15条の8 本学に「宗教文化士受験資格に関する科目」を置く。授業科目及び単位数は別表第15に定める。

第15条の9 本学に公認心理師法第7条第1号及び公認心理師法施行規則第1条の規定に基づき「公認心理師受験資格に関する科目」を置く。授業科目及び単位数は別表第16に定める。

第4章 履修方法・授業科目の履修修了の認定及び卒業 (修業年限)

第16条 本学の修業年限を4年とする。

第17条 学生は8年を超えて在学することができない。ただし、第39条の規定により入学した学生は、退学以前の在学年数を8年より減じた年数を超えて在学することができない。第40条の規定により入学した学生は、入学時に定められた修業年限の3倍を超えて在学することができない。

(履修)

第17条の2 他の大学又は短期大学の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該大学等との協議に基づき、単位互換履修生として履修を許可することができる。

2 単位互換履修生に関しては、別に定める。

第18条 各学科の授業科目は4年にわたり配当し、必修科目、選択科目及び基礎教育科目とともに第一年次より履修し、逐年増加履修する。なお、その必要のあるものは教職に関する科目を履修するものとする。

第19条 単位計算の方法については大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第21条及び第23条により次のとおりとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(3) 卒業論文等については、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

第19条の2 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

第19条の3 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

3 前2項の実施に関して必要な事項については、別に定める。

第19条の4 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学が別に定めるところにより単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第一項及び第二項により当該大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第19条の5 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が当該大学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（第54条の規定により修得した単位を含む。）を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第一項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学が別に定めるところにより単位を与えることができる。

3 前二項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第19条の3第一項及び第二項並びに前条第一項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第20条 学生は、第5条に基づいて合計124単位以上を修得しなければならない。

第20条の2 削除

第21条 削除

(履修修了の認定)

第22条 授業科目の履修修了の認定は、試験（卒業論文を含む。）による。試験は学期末又は学年末に履修した科目について筆記、口述、論文などによって行う。試験に合格したものには授業科目所定の単位を与える。

卒業論文の審査は口述試問を加えるものとする。

第23条 授業科目の成績は100点を満点とし、60点以上を合格とする。

第24条 追試験は原則として行わない。ただし、本人の願い出により試験に欠席した理由を正当と認めた場合には教授会の議を経て追試験を行うことがある。

第25条 本学に4年以上在学し、第20条の定めるところにより所定の単位を修得し卒業した者には、学士の学位を授与する。

第26条 削除

第5章 学年・学期及び休業日

(学年)

第27条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第28条 学年を分けて前期及び後期の2学期とする。

前期 4月1日より9月20日まで

後期 9月21日より3月31日まで

(休業日)

第29条 休業日を次のとおり定める。

日曜日

国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

創立記念日 5月25日

春期休業 3月18日より3月27日まで

夏期休業 8月5日より8月31日まで

冬期休業 12月29日より1月7日まで

2 必要がある場合に、学長は前項の休業日を臨時に変更することができる。

3 前項以外に学長は臨時の休業日を定めることができる。

第6章 入学・休学・復学・退学・再入学・転入学・除籍及び留学

(入学)

第30条 入学の時期は学年又は学期の始めとする。

第31条 入学の定員を次のとおり定める。

文学部

仏教学科	毎年入学定員35名	収容定員140名
------	-----------	----------

日本史学科	毎年入学定員65名	収容定員260名
-------	-----------	----------

日本文学科	毎年入学定員60名	収容定員240名
-------	-----------	----------

社会福祉学部

社会福祉学科	毎年入学定員80名	収容定員320名
--------	-----------	----------

臨床心理学科	毎年入学定員85名	収容定員340名
--------	-----------	----------

児童福祉学科	毎年入学定員80名	収容定員320名
--------	-----------	----------

第32条 本学に入学することのできる者は次の各号のいずれかに該当し、所定の入学試験に合格した者でなければならない。

(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者

- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準じる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設等の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者

第33条 入学志望者は入学願書、出身学校調査書等、本学所定の書類に従い、別に定める入学検定料を添えて指定の期日までに提出しなければならない。

第34条 前条の入学志望者については、別に定めるところにより、選考を行う。

第35条 入学を許可された者は所定の期日までに保証人が連署した誓約保証書及び所定の書類を提出しなければならない。

- 2 保証人は2名とし、その1名は父母若しくはこれに代わる者とする。保証人は学生の身上に関する一切の責任を負わなければならない。保証人が転籍、転居等した場合は、直ちに届け出なければならない。保証人が死亡し、又はその資格を失った場合は、保証人を変更して誓約保証書を再提出しなければならない。

（休学）

第36条 病気その他やむを得ぬ理由により休学しようとする者はその事由を所定の用紙に記入し、正保証人の連署をもって願い出なければならない。ただし、病気による休学の場合は医師の診断書を提出しなければならない。

- 2 病気のため修学に適さないと認められる者については教授会の議を経て学長が休学を命ずることがある。
- 3 休学の期間はその年度内に限る。ただし、願い出があれば事情により、延長を許可することがある。
- 4 休学の期間は第17条に規定する在学年限に算入しない。ただし、休学は通算4年を超えることができない。

（退学）

第37条 病気その他の理由により退学しようとする者は、その事由を所定の用紙に記し、正保証人の連署をもって願い出なければならない。

第38条 休学又は退学を願い出る場合、その納期分納額の学費その他の義務を完了しないときにはこれを許可しない。

（再入学）

第39条 第37条により退学した者が再入学を願い出たときは、退学後3年以内に限り、その事情を考慮して許可することがある。ただし、入学の時期は第30条、手続は第33条、第35条によるものとする。

（編入学）

第40条 欠員のある場合は選考のうえ他の大学からの編入学を許可することがある。

（転学）

第41条 学生が他の大学に転学しようとするときは、事由を付して学長に願い出て許可を得なければならない。

（除籍）

第42条 次の各号の一に該当するものは除籍する。

- (1) 学費及び諸納入金を納付期限内に納めず、督促を受けても納付しない者

(2) 第17条に定められた在学年限を超えた者

(3) 死亡した者

第42条の2 削除

(留学)

第42条の3 本学が定める留学については、その期間について修業年限に含めることができる。ただし、1年を超えることはできない。本学が定める留学については、別に定める。

第7章 学費

(検定料)

第43条 本学に入学を願い出る者は、次の検定料を納入しなければならない。

(1) 1学科を受験する者は35,000円

(2) 同一願書にて試験日程の異なる入学試験に複数出願をする場合は、2出願目からの出願件数に10,000円を乗じた金額を、前号の金額に加算する。また、同一日程・同一選考区分において、指定する学科に併願する場合の検定料は無料とする。

(3) 本学の定める指定校推薦入試を受験する者は25,000円

(4) 私費外国人留学生は25,000円

(5) センター試験利用方式の検定料は、15,000円とし、同一願書にて複数学科を受験する場合は、2学科目からの出願件数に10,000円を乗じた金額を加算する。また、本学が指定する一般入試と同時に出願する場合、検定料の15,000円を免除する。

2 入学を許可された者は、入学金200,000円を納めなければならない。ただし、次の各号に定める者はこれを減免する。

(1) 本学同窓会・後援会会員の2親等以内の親族は全額減免

(2) 本学留学生別科出身者は全額減免

(3) 花園高等学校からの内部進学者は100,000円減免

(学費)

第44条 授業料等学費の種類及び金額は次のとおりとする。

授業料

文学部 826,000円

社会福祉学部 829,000円

教育充実費 220,000円

2 前項のほか、後援会費、同窓会費等及び教育実習、実験実習を要する授業科目を履修する者は、別に定めるところにより諸費用を納めなければならない。なお、学費は指定された期日までに納めなければならない。

3 生計を同じくする兄弟姉妹が本学に入学した場合、先に入学している兄弟姉妹の最短修学年限までの後期授業料相当額を免除する。

第45条 削除

(履修料)

第46条 科目等履修生は履修料を納付しなければならない。履修料は別にこれを定める。

(入学金等の返還)

第47条 一旦納めた入学金及び学費はこれを返還しない。

2 休学期間内の学費は免除する。ただし、休学期間が次年度にわたる場合は在籍料として各納期毎に所定の金額を指定の日までに納入しなければならない。

第47条の2 前条第1項の規定にかかわらず入学辞退者については、別に定める期間に申出のあった者に限り、学費を返還する。

(学費納付遅延の許可)

第48条 正当な事由により所定の期限内に学費を納付しない場合には直ちにその旨を願い出て許可を得なければならない。

第8章 職員組織及び連合教授会・評議会

(組織)

第49条 本学に学長、副学長、事務局長、部長、次長、課長、係長、課員、図書館長、司書、校医等一定数の職員を置く。

第50条 本学に一定数の教授、准教授、講師、助教及び助手を置く。

第51条 主要な授業科目は教授が担当することを原則とする。ただし、准教授又は講師が分担することがある。

(連合教授会)

第52条 本学に連合教授会を置く。

2 学長は、連合教授会を招集し、その議長となる。

3 連合教授会は、教授、准教授及び講師をもって組織する。

4 連合教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了

(2) 学位の授与

(3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、学長が連合教授会の意見を聴くことが必要であると認めるもの

第52条の2 削除

(評議会)

第53条 本学に大学運営上の重要事項を審議するため、評議会を置く。評議会の規程については別に定める。

第9章 選科生・科目等履修生及び外国人留学生

(選科生)

第54条 本学則第32条第7号に該当する者で本学学生として入学を希望する者があるときは、欠員のある場合に限り選科生として選考のうえこれを許可することがある。

第55条 選科生はその履修した授業科目について試験を受け、合格すれば修了証書が授与される。選科生については別に選科生に関する規程を設ける。

第56条 選科生には本学則を準用する。ただし、第25条はこれを適用しない。

(科目等履修生)

第57条 本学則第32条各号の一に該当する者が、本学の授業科目中その一部について履修を願い出るときは学生の修学に支障のない場合に限りこれを許可することがある。科目等履修生については、科目等履修生規程を設け、又は本学則を準用する。ただし、第25条は適用しない。

2 科目等履修生は、履修した授業科目について、試験に合格したときは、願い出により所定の単位を与える。

(外国人留学生)

第58条 外国人学生で外国公館又はこれに準ずる機関の推薦する者は、学部留学生として教授会の議を経て入学を許可することがある。入学を許可された者については本学則を準用する。

第59条 第32条に規定する入学資格を有する外国人で、在留資格を有しない外国人については、入学願書受け付けの際、受け付けの可否について検討されなければならない。受け付けが許可された者に限り、入学試験を受けることができる。入学を許可された者については本学則を準用する。

第10章 図書館・研究所・博物館・公開講座

(図書館)

第60条 本学に図書館を設置し、教職員、学生の自由研究に資する。ただし、図書館に関する規程は別にこれを定める。

(歴史博物館)

第60条の2 本学に歴史博物館を設置する。歴史博物館の規程については別にこれを定める。

(研究所)

第61条 本学に国際禅学研究所を設置する。研究所の規程については別にこれを定める。

(公開講座)

第62条 本学に随時公開講座を開設し、社会文化の向上に資する。

第11章 学生会館・保健施設

第63条 削除

(学生会館)

第64条 本学に学生会館を設け、学生の課外活動に資する。

(健康診断)

第65条 教職員及び学生の健康増進を図るため毎年健康診断を行う。

(保健室)

第66条 本学に保健室を設け必要のある場合救急処置を行う。

第12章 賞罰

(表彰)

第67条 品行方正学力優秀な者、又は奇特定の行為があった者はこれを表彰することがある。

(特待生)

第67条の2 学業その他が特に優秀な者は、特待生とすることができる。

2 特待生には、授業料等の学費相当額の奨学金を支給する。

3 入学試験種別ごとの合格者で優秀と認められる者は、新入生特待生として入学年度の授業料相当額以下の奨学金を支給することができる。(2017年度入学者から適用)。

4 特待生が、学生としての本分に背いた行為をしたときは、特待生の資格を失うものとする。

(懲戒)

第68条 学生が学則その他規則に違反し、又はその本分に反する行為のあるときは、学長が懲戒を行う。

2 懲戒は訓告、停学及び退学とする。なお懲戒の手続については別にこれを定める。

(退学)

第69条 退学は次の事項に該当するものについて行う。

(1) 成績不良にして成業の見込がないと認めた者

(2) 理由のいかんにかかわらず無届けで引き続き6か月以上欠席した者

(3) 性行不良で改善の見込がないと認められる者

(4) 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

(改廃)

第70条 本規程の改廃に当たって、学長が、評議会の意見を聴き、理事会の承認を得て、これを行う。

附 則

1 本学則は昭和24年4月1日から実施する。

1 本学則は昭和41年4月1日から実施する。

(中略)

1 本学則は2004(平成16)年4月1日から実施する。

1 本学則は2005(平成17)年4月1日から実施する。

1 本学則は2006(平成18)年4月1日から実施する。

ただし、2001(平成13)年度以前の入学生については、従前の学則による。

1 本学則は2007(平成19)年4月1日から実施する。

ただし、2006(平成18)年度以前の入学生については、従前の学則による。

1 本学則は2008(平成20)年4月1日から実施する。

ただし、2007(平成19)年度以前の入学生については、従前の学則による。

1 本学則は2009(平成21)年4月1日から実施する。

1 本学則は2010(平成22)年4月1日から実施する。

1 本学則は2011(平成23)年4月1日から実施する。

1 本学則は2012(平成24)年4月1日から実施する。

1 本学則は2013(平成25)年4月1日から実施する。

ただし、2012(平成24)年度以前の入学生については、従前の学則による。

1 本学則は2014(平成26)年4月1日から実施する。

1 本学則は2015(平成27)年4月1日から実施する。

1 本学則は2015(平成27)年5月28日から実施する。

1 (1) 本学則は2016(平成28)年4月1日から実施する。

(2) 本改正学則の施行により学生募集を停止する文化遺産学科ならびに創造表現学科は、当該学科に学生が在籍しなくなるまでの間、存続するものとし、改正前学則の当該学科に係る諸規程が引き続き適用されるものとする。

1 本学則は2016(平成28)年6月1日から実施する。

- 1 本学則は2017（平成29）年4月1日から実施する。
- 1 本学則は2017（平成29）年6月1日から実施する。
- 1 本学則は2018（平成30）年4月1日から実施する。
- 1 （１） 本学則は2019（平成31）年4月1日から実施する。
（２） 本改正学則の施行により学生募集を停止する社会福祉学科福祉介護コースの介護福祉士養成課程は、当該コースに学生が在籍しなくなるまでの間、存続するものとし、改正前学則の当該コースに係る諸規程が引き続き適用されるものとする。
- 1 本学則は2019（令和元）年7月24日から実施する。

別表第1（第4条の2関係）

学位授与の方針（全学）	
全学共通科目と各学部・学科・課程の科目を履修し、既定の単位数を修得することを通じて、高度な教養・学術・専門技術とともに、建学の精神に基づく以下の5項目を身に付けることを学位授与の卒業要件とする。 ・たゆまぬ自己追求、自己変革 ・伝統文化への深い理解 ・現代的課題への対応 ・利他の精神による社会への参加・貢献 ・他者を認め、理解する能力の応用	

学部	学位授与の方針
文学部	人間という存在の本質について深く考え、その人間によって構成される社会の在り方に関して深い洞察力を身に付け、すぐれた社会人としての見識を獲得したことをもって、本学部の学位授与要件とする。単なる知識の習得にとどまらず、社会の中で正しく生きていくための幅広い素養が学生の身についたことを確認することが、本学部の学位授与方針の第一義である。
社会福祉学部	利他の精神による社会への参加・貢献の精神と、他者を認め、理解する能力が身につけていること、さらに進んで、たゆまぬ自己追求と自己変革を通じて、伝統文化への深い理解と継承を図り、現代における諸課題に対応できる高度な教養と学術を身につけることにより、建学の精神である「禅的仏教精神による人格の陶冶」の理念が具現化できていることをもって、本学部の学位を授与する要件とする。

学科	学位授与の方針
仏教学科	（たゆまぬ自己追求、自己変革） ・ゼミ活動、卒業論文、卒業制作、留学、インターンシップ、長期間の実習などを通じて主体的に問題を発見し、計画的に課題に取り組み、解決する能力を身に付けた。 ・禅的な自己追求の方法についての知識を習得した。 （伝統文化への深い理解） ・仏教を中心としたアジアの歴史に関する教養を身に付けた。 （現代的課題への対応） ・異なった価値観を持つ人々と共同して活動する方法を身につけた。 ・異文化に対する理解を深めた。 ・情報処理技術を身に付けた。 ・地域社会などにおける問題（人権問題など）を指摘し、解決策を提案できるようになった。 （利他の精神による社会への参加・貢献） ・コミュニケーション能力（あいさつ、マナー、プレゼンテーション、傾聴力など）を身に付けた。 ・キャリアについて考える。 （高度な教養、学術、専門技術の教育・研究）

	・宗教者としての社会実践の方法についての知識を習得した。 ・専門道場での修行に備えて基本的所作を習得した。
日本史学科	(たゆまぬ自己追究、自己変革) ・ゼミ活動、卒業論文、卒業制作、留学、インターンシップ、長期間の実習などを通じて主体的に問題を発見し、計画的に課題に取り組み、解決する能力を身に付けた。 (伝統文化への深い理解) ・日本史と文化遺産に関する教養を身に付けた。 ・禅に関する基本的な知識を身に付けた。 (現代的課題への対応) ・異なった価値観を持つ人々と共同して活動する方法を身につけた。 ・異文化に対する理解を深めた。 ・情報処理技術を身に付けた。 ・地域社会などにおける問題（人権問題など）を指摘し、解決策を提案できるようになった。 ・日本史を学ぶことによって、現代日本の課題を歴史的に考察し、その解決策を提案できるようになった。 ・図書館、博物館、文書館などで行われる史料や文化遺産の保存と活用などを始め、社会教育についての知識を習得した。 (利他の精神による社会への参加・貢献) ・コミュニケーション能力（あいさつ、マナー、プレゼンテーション、傾聴力など）を身に付けた。 ・差別されている人々について理解する能力を身に付けた。 ・キャリアについて自分で考える。 (高度な教養、学術、専門技術の教育・研究) ・日本史についての高度な専門的知識、史料を分析して歴史像を構成する文献史学の研究方法、文化遺産についての高度な専門知識と技術を習得した。
日本文学科	(たゆまぬ自己追究、自己変革) ・ゼミ活動、卒業論文、卒業制作、留学、インターンシップ、長期間の実習などを通じて主体的に問題を発見し、計画的に課題に取り組み、解決する能力を身に付けた。 ・禅に関する基本的な知識を身に付けた。 (伝統文化への深い理解) ・日本文学に関する教養を身に付けた。 (現代的課題への対応) ・異なった価値観を持つ人々と共同して活動する方法を身につけた。 ・異文化に対する理解を深めた。 ・情報処理技術を身に付けた。 ・地域社会などにおける問題（人権問題など）を指摘し、解決策を提案できるようになった。 (利他の精神による社会への参加・貢献) ・コミュニケーション能力（あいさつ、マナー、プレゼンテーション、傾聴力など）を身に付けた。 ・キャリアについて自分で考える。 (高度な教養、学術、専門技術の教育・研究) ・日本の上代から近代までの日本文学、日本語学の高度な理論や知識、研究方法、さらに書道の理論と技術の教育・研究を通じて、日本文学や日本語、書道をはじめとする日本の伝統文化についての高度な知識と深い方法を習得した。
	(たゆまぬ自己追究、自己変革) ・ゼミ活動、卒業論文、卒業制作、留学、インターンシップ、長期間の実習などを通じて主体的に問題を発見し、計画的に課題に取り組み、解決する能力を身に付けた。 ・禅に関する基本的な知識を身に付けた。

社会福祉学科	(現代的課題への対応) ・地域社会における福祉問題を指摘し、解決策を提案できるようになった。 (利他の精神による社会への参加・貢献) ・社会福祉の実践方法についての知識を習得した。 (他者を認め、理解する能力の養成) ・社会的に弱い立場にある人々の立場を認め、理解する能力を身につけた。 (高度な教養、学術、専門技術の教育・研究) ・社会福祉に関する知識と社会福祉実践に関する技術を習得した。 ・社会福祉援助者として保持すべき価値・倫理について修得した。
臨床心理学科	(たゆまぬ自己追求、自己変革) ・ゼミ活動、卒業論文、卒業制作、留学、インターンシップ、長期間の実習などを通じて主体的に問題を発見し、計画的に課題に取り組み、解決する能力を身に付けた。 ・心理学や精神保健に関する学問を通じた自己追求、自己覚知の方法についての知識を習得した。 ・禅に関する基本的な知識を身に付けた。 (伝統文化への深い理解) ・禅のなかに心理学と共通した人間理解の知識を身に付けた。 (現代的課題への対応) ・異なった価値観を持つ人々と共同して活動する方法を身に付けた。 ・異文化に対する理解を深めた。 ・情報処理技術を身に付けた。 ・地域社会などにおける問題を敏感に察知し、解決策を提案できるようになった。 (利他の精神による社会への参加・貢献) ・現代社会における心理学的諸問題を発見し、心理学を応用して取り組む知識を身に付けた。 ・メンタルヘルスの課題を認識し、国民全体のメンタルヘルスの向上への提案できるようになった。 (他者を認め、理解する能力の応用) ・コミュニケーションの能力（あいさつ、マナー、プレゼンテーション、傾聴力など）を身に付けた。 ・抑圧されている人々について理解する能力を身に付けた。 ・メンタルヘルスに課題を持つ人々への理解と援助についての知識を身に付けた。 (高度な教養、学術、専門技術の教育・研究) ・臨床心理学の専門知識・技術を修得した。
児童福祉学科	(たゆまぬ自己追求、自己変革) ・ゼミ活動、長期間の実習などを通じて主体的に問題を発見し、計画的に課題に取り組み、解決する能力を身に付けた。 ・禅に関する基本的な知識を身に付けた。 (現代的課題への対応) ・異なった価値観を持つ人々と共同して活動する方法を身につけた。 ・保育の問題と課題に対して理解を深め、問題意識が持てた。 ・情報処理技術を身に付けた。 ・地域社会などにおける問題（人権問題など）を指摘し、解決策を提案できるようになった。 (利他の精神による社会への参加・貢献) ・コミュニケーション能力（あいさつ、マナー、プレゼンテーション、傾聴力など）を身に付けた。 ・児童の健全な成長や学習を促す方法について授業の中で知識を習得した。 ・社会的に弱い立場にある人々の立場を認め、理解する能力を身につけた。 (高度な教養、学術、専門技術の教育・研究) ・子ども支援のために教授された専門知識・技術を習得した。

教育課程編成・実施の方針（全学）	
建学の精神に基づき、たゆまぬ自己追求・自己変革を続けるための精神性を涵養するとともに、伝統文化への深い理解と現代的課題への対応力を身に付けるための科目や、利他の精神によって社会へ参加・貢献するための知識や技術を身に付けるための科目、他者を認め理解する能力を養成するための科目を開講する。	

学部	教育課程編成・実施の方針
文学部	建学の精神に基づき、人間の社会的活動を正しく分析し、その本質を見抜く能力の育成を目指す。堅実な情報収集、客観的視点による状況分析、的確な情報発信などを可能にする基礎力を養成し、それを土台として、学生個々人がそれぞれのテーマに沿った具体的研究活動を完成するに至るまでのプロセスを確実に実行できるような人材を養成する。
社会福祉学部	建学の精神である「禅的仏教精神による人格の陶冶」に基づき、臨床心理・児童福祉を含む社会福祉全般の理論と技術を習得する教育研究を通じて、利他の精神による社会への参加・貢献の精神と、他者を認め、理解する能力を養成し、現代的課題に対応する高度な教養と学術を身につけた人材を養成する。

学科	教育課程編成・実施の方針
仏教学科	アジアの長い伝統において育まれ、現在では世界的に受容されている禅仏教を中心とした仏教学の教育・研究を通じて、文献学と宗教的実践の方法を身につけ、アジアの伝統文化とその国際的な広がりについての深い理解を持つとともに、それを現代社会が抱える諸問題の解決へと応用できる人材を養成する。また寺院後継者としての必要な知識と素養を習得した人材を養成する。
日本史学科	日本史（古代史、中世史、近世史、近現代史）、考古学、民俗学、美術史学、博物館学等の教育・研究を通じて、日本の歴史と文化についての高度な専門的知識と、史料を解読・分析して歴史像を構成する文献史学の方法、文化財を調査・保存・活用する高度な方法を身につけ、そうした知識と方法を社会に還元して、次の時代へと継承することができる人材を養成する。
日本文学科	日本の上代から近代までの日本文学、日本語学の高度な理論や知識、研究方法、さらに書道の理論と技術の教育・研究を通じて、日本文学や日本語、書道をはじめとする日本の伝統文化についての高度な知識と深い方法を習得し、周辺の学問に対する幅広い理解力を持ち、日本人のもつ深い精神性を身につけ、自立できる人間に成長し、文学や文化を次代へと継承することができる人材を養成する。
社会福祉学科	社会福祉の理論と技術を修得する教育研究を通じて、利他の精神による社会への参加・貢献の精神と、他者を認め理解する能力を身につけ、社会福祉フィールドにおいて現代の諸問題を解決することができる優れた指導的人材を養成する。
臨床心理学科	臨床心理学の理論と技術を修得する組織的な教育研究を通じて、利他の精神による社会への参加・貢献の精神と他者を認め、理解する能力を身につけ、この分野における高度の知識を身につけ人間生活上の諸問題の解決に貢献できる人材を養成する。
児童福祉学科	人間形成・人間発達の重要な段階である幼児・児童期に焦点をあて、子どもの心と身体の発達のプロセスと、それに影響を及ぼす社会的要因について総合的に教育研究を行うことを通して、利他の精神による社会への参加・貢献の精神と他者を認め理解する能力を身につけ、子ども一人ひとりの健全な成長発達に向けて、様々な問題を解決できる能力をもった人材を養成する。

入学者受入れの方針（全学）
たゆまぬ自己追求・自己変革を続けようという意志を持つとともに、以下にあげる基礎的な学力を備えていることを入学の要件とする。 （知識・理解）

- ・高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な課題を解くことができる。
- (思考・判断)
- ・ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。
- (技能・表現)
- ・自分の考えを、日本語で他者からもわかりやすく文章表現ができる。

学部	入学者受入れの方針
文学部	(知識・理解) ・高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な課題を解くことができる。 (思考・判断) ・ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。 (技能・表現) ・自分の考えを、日本語で他者からもわかりやすく文書表現ができる。
社会福祉学部	(知識・理解) ・高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な課題を解くことができる。 (思考・判断) ・ある事象に対して、他者の立場に立って考える事ができる。 ・ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。 (技能・表現) ・自分の考えを、日本語で他者からもわかりやすく文書表現ができる。 (関心・意欲・態度) ・将来、社会福祉の仕事に就く意欲が高い者。 ・長期の実習に熱意をもって取り組める者。

学科	入学者受入れ方針
仏教学科	(知識・理解) ・高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な課題を解くことができる。 ・禅や仏教に関する基礎的な専門知識・技術を有している。 (思考・判断) ・ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。 (技能・表現) ・自分の考えを、日本語で他者からもわかりやすく文章表現ができる。 (関心・意欲・態度) ・実際の生活や現存する文化を媒体として、インドから中国、日本へと伝承された仏教がどのように展開してきたのか、また哲学的な部分に着目し、人間の生と死をどのように理解するのかなど、興味・関心を持つ者。 ・坐禅の実践或いは日常生活に活かせる禅仏教のあり方等について関心を寄せる者。
日本史学科	(知識・理解) ・高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な課題を解くことができる。 ・日本史と文化遺産に関する基礎的な専門知識を持っている。 ・自分が興味・関心を持っている日本史の時代・分野、歴史上の人物、文化遺産などについて、自主的に学習している。 (思考・判断) ・ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。 (技能・表現) ・自分の考えを、日本語で他者からもわかりやすく文章表現ができる。 (関心・意欲)

	・日本史と文化遺産について、「日本史の舞台であり、文化遺産の宝庫である京都」で学べるという有利な研究環境を活かし、自分が興味・関心を持っていることについて、深く探求しようとする意欲を持っている者。
日本文学科	(知識・理解) ・高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を持ち、内容を理解することができる。特に、書道においては、実技と理論面の知識と理解を深めることができる。 ・日本文学や書道を含めた日本文化に関する専門知識・技術を有している。 (思考・判断) ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめて表現することができる。とともに、書道においては書としての技能と表現を高めることができる。 (技能・表現) 自分の考えを、日本語で論理的にわかりやすく文章表現ができる。 (関心・意欲、態度) 日本語の持つ独自の世界観や日本文化への理解を深めるとともに、さまざまな文学作品と周辺の文学や文化を研究することで、日本人の多様性・多面性に迫り、その全体像を解明しようとする者。書においては、文化としての書に対する関心を深め、それを制作・研究に活かせる者。
社会福祉学科	(知識・理解) ・高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な課題を解くことができる。 ・社会福祉関係または介護関係のボランティア活動等に継続的に参加している体験を持つ者。 (思考・判断) ・ある事象に対して、他者の立場に立って考える事ができる。 ・ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。 (技能・表現) ・自分の考えを、言葉で、或いは文章で他者からもわかりやすく表現ができる。 (関心・意欲、態度) ・将来、社会福祉の仕事に就く意欲が高い者。 ・長期の実習に熱意をもって取り組める者。
臨床心理学科	(知識・理解) ・高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な課題を解くことができる。 (思考・判断) ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。 (技能・表現) ・自分の考えを、日本語で他者からもわかりやすく文章表現ができる。 (関心・意欲、態度) ・臨床心理を学ぶ意欲を持ち、心理学の理論と技法を活かして福祉、医療、保健、教育、心理学、産業等の分野で貢献することを強く希望する者。 ・公認心理師、精神保健福祉士、社会福祉士、スクールソーシャルワーカー、特別支援教育に携わる教員、臨床心理士、認定心理士として働くことを強く希望する者。 ・長期の実習に熱意をもって取り組める者。
児童福祉学科	(知識・理解) ・高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な課題を解くことができる。 (思考・判断) ・ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。 (技能・表現) ・自分の考えを、日本語で他者からもわかりやすく文章表現ができる。 (関心・意欲、態度) ・子どもが好きで、子どもと一緒に遊ぶことができる者。幼児教育に対して、

	熱意のある者。 ・チームワーク、協力、責任、マナーなど社会性がある者。 ・長期の実習に熱意をもって取り組める者。
--	--

別表第2（第5条関係）

文学部 仏教学科				
必修科目（70単位）				
必修科目（22単位）	必修	選必	選択	備考
禅学Ⅰ	2			
禅学Ⅱ	2			
仏教とは何かⅠ	2			
仏教とは何かⅡ	2			
禅とは何かⅠ	2			
禅とは何かⅡ	2			
仏教学の基礎知識Ⅰ	2			
仏教学の基礎知識Ⅱ	2			
実践禅学Ⅰ－Ⅰ	1			
実践禅学Ⅰ－Ⅱ	1			
実践禅学Ⅱ－Ⅰ	1			
実践禅学Ⅱ－Ⅱ	1			
接心Ⅰ	1			
接心Ⅱ	1			
演習（4単位）	必修	選必	選択	備考
仏教学演習AⅠ		2		2単位必修
仏教学演習AⅡ		2		
仏教学演習AⅢ		2		
仏教学演習AⅣ		2		
仏教学演習AⅤ		2		
仏教学演習BⅠ		2		2単位必修
仏教学演習BⅡ		2		
仏教学演習BⅢ		2		
仏教学演習BⅣ		2		
仏教学演習BⅤ		2		
卒業論文（8単位）	必修	選必	選択	備考
卒業論文	8			
講読（16単位）	必修	選必	選択	備考
漢文の基礎Ⅰ－Ⅰ	2			8単位必修
漢文の基礎Ⅰ－Ⅱ	2			
漢文の基礎Ⅱ－Ⅰ	2			
漢文の基礎Ⅱ－Ⅱ	2			
日本の禅籍Ⅰ		2		
日本の禅籍Ⅱ		2		
中国の禅籍Ⅰ		2		
中国の禅籍Ⅱ		2		
漢詩入門Ⅰ		2		
漢詩入門Ⅱ		2		
選択必修科目（20単位）	必修	選必	選択	備考
仏教の美術Ⅰ		2		
仏教の美術Ⅱ		2		

中国の歴史と仏教Ⅰ		2		
中国の歴史と仏教Ⅱ		2		
中国禅宗の歴史Ⅰ		2		
中国禅宗の歴史Ⅱ		2		
日本禅宗の展開Ⅰ		2		
日本禅宗の展開Ⅱ		2		
日本仏教の歴史Ⅰ		2		
日本仏教の歴史Ⅱ		2		
栄西と道元Ⅰ		2		
栄西と道元Ⅱ		2		
東西の死生観Ⅰ		2		
東西の死生観Ⅱ		2		
近代の禅思想Ⅰ		2		
近代の禅思想Ⅱ		2		
仏教哲学の世界観Ⅰ		2		
仏教哲学の世界観Ⅱ		2		
臨床死生学論Ⅰ		2		
臨床死生学論Ⅱ		2		
禅宗日課經典の解説Ⅰ		2		
禅宗日課經典の解説Ⅱ		2		
禅のことばⅠ		2		
禅のことばⅡ		2		
法式実習Ⅰ		2		
法式実習Ⅱ		2		
書式実習		2		
選択科目				
選択科目（10単位）	必修	選必	選択	備考
宗教学（専）			4	
宗教史			4	
哲学概論			4	
仏教の戒律			4	
倫理学（専）			4	
サンスクリット語（初）			4	

文学部 日本史学科				
必修科目（52単位）				
必修科目（12単位）	必修	選必	選択	備考
古代史概説	2			
中世史概説	2			
近世史概説	2			
近現代史概説	2			
基礎演習Ⅰ	1			
基礎演習Ⅱ	1			
研究入門演習Ⅰ	1			
研究入門演習Ⅱ	1			
演習（4単位）	必修	選必	選択	備考
日本史学演習A	2			
日本史学演習B	2			
卒業論文（8単位）	必修	選必	選択	備考
卒業論文	8			

選択必修科目（28単位）	必修	選必	選択	備考
古文書学	2			
日本史学講読Ⅰ－Ⅰ		1		2 単位必修
日本史学講読Ⅰ－Ⅱ		1		
日本史学講読Ⅱ－Ⅰ		1		
日本史学講読Ⅱ－Ⅱ		1		
日本史学講読Ⅲ－Ⅰ		1		
日本史学講読Ⅲ－Ⅱ		1		
日本史学講読Ⅳ－Ⅰ		1		
日本史学講読Ⅳ－Ⅱ		1		
考古学実習Ⅰ		1		
考古学実習Ⅱ		1		
民俗学実習Ⅰ		1		
民俗学実習Ⅱ		1		
美術史実習Ⅰ		1		
美術史実習Ⅱ		1		
史学概論Ⅰ		2		8 単位必修
史学概論Ⅱ		2		
東洋史概説Ⅰ		2		
東洋史概説Ⅱ		2		
西洋史概説Ⅰ		2		
西洋史概説Ⅱ		2		
古代史研究Ⅰ		2		8 単位必修
古代史研究Ⅱ		2		
中世史研究Ⅰ		2		
中世史研究Ⅱ		2		
近世史研究Ⅰ		2		
近世史研究Ⅱ		2		
近現代史研究Ⅰ		2		
近現代史研究Ⅱ		2		
考古学研究Ⅰ		2		
考古学研究Ⅱ		2		
民俗学研究Ⅰ		2		
民俗学研究Ⅱ		2		
美術史研究Ⅰ		2		
美術史研究Ⅱ		2		
対外交渉史Ⅰ		2		8 単位必修
対外交渉史Ⅱ		2		
日本社会文化史Ⅰ		2		
日本社会文化史Ⅱ		2		
日本政治史Ⅰ		2		
日本政治史Ⅱ		2		
日本経済史Ⅰ		2		
日本経済史Ⅱ		2		
考古学概論Ⅰ		2		
考古学概論Ⅱ		2		
民俗学概論Ⅰ		2		
民俗学概論Ⅱ		2		
美術史学概論Ⅰ		2		
美術史学概論Ⅱ		2		
選択科目				
選択科目（24単位）	必修	選必	選択	備考
明治維新史研究Ⅰ			2	

明治維新史研究Ⅱ			2	
戦国史研究Ⅰ			2	
戦国史研究Ⅱ			2	
日本仏教史Ⅰ			2	
日本仏教史Ⅱ			2	
日本禅宗史Ⅰ			2	
日本禅宗史Ⅱ			2	
経済学（国際経済を含む）Ⅰ			2	
経済学（国際経済を含む）Ⅱ			2	
書誌学Ⅰ			2	
書誌学Ⅱ			2	
図書館概論			2	
図書館制度・経営論			2	
図書館情報技術論			2	
古文書学実習			1	
生涯学習概論Ⅰ			2	
生涯学習概論Ⅱ			2	
仏教考古学Ⅰ			2	
仏教考古学Ⅱ			2	
仏教民俗学Ⅰ			2	
仏教民俗学Ⅱ			2	
仏教美術史Ⅰ			2	
仏教美術史Ⅱ			2	
自然地理学Ⅰ			2	
自然地理学Ⅱ			2	
人文地理学Ⅰ			2	
人文地理学Ⅱ			2	
地誌学Ⅰ			2	
地誌学Ⅱ			2	
政治学（国際政治を含む）Ⅰ			2	
政治学（国際政治を含む）Ⅱ			2	
禅文化史Ⅰ			2	
禅文化史Ⅱ			2	
禅文化史研究Ⅰ			2	
禅文化史研究Ⅱ			2	
博物館概論			2	
博物館経営論			2	
博物館資料論			2	

文学部 日本文学科 日本文学コース				
必修科目（48単位）				
普通講義（20単位）	必修	選必	選択	備考
基礎講読Ⅰ－Ⅰ	1			4単位必修
基礎講読Ⅰ－Ⅱ	1			
基礎講読Ⅱ－Ⅰ	1			
基礎講読Ⅱ－Ⅱ	1			
日本文学概論Ⅰ	2			
日本文学概論Ⅱ	2			
日本語学概論Ⅰ		2		
日本語学概論Ⅱ		2		
現代文化概論Ⅰ		2		4単位必修
現代文化概論Ⅱ		2		
日本語史Ⅰ		2		

日本語史Ⅱ		2		
日本文学史（古典）Ⅰ－Ⅰ		2		
日本文学史（古典）Ⅰ－Ⅱ		2		8単位必修
日本文学史（近現代）Ⅱ－Ⅰ		2		
日本文学史（近現代）Ⅱ－Ⅱ		2		
講読（4単位）	必修	選必	選択	備考
日本文学講読Ⅰ－Ⅰ		1		
日本文学講読Ⅰ－Ⅱ		1		
日本文学講読Ⅱ－Ⅰ		1		
日本文学講読Ⅱ－Ⅱ		1		
日本文学講読Ⅲ－Ⅰ		1		
日本文学講読Ⅲ－Ⅱ		1		
日本文学講読Ⅳ－Ⅰ		1		
日本文学講読Ⅳ－Ⅱ		1		4単位必修
日本文学講読Ⅴ－Ⅰ		1		
日本文学講読Ⅴ－Ⅱ		1		
日本語学講読Ⅰ		1		
日本語学講読Ⅱ		1		
現代文化講読Ⅰ		1		
現代文化講読Ⅱ		1		
特殊講義（12単位）	必修	選必	選択	備考
上代文学研究Ⅰ		2		
上代文学研究Ⅱ		2		
中古文学研究Ⅰ		2		
中古文学研究Ⅱ		2		
中世文学研究Ⅰ		2		
中世文学研究Ⅱ		2		
近世文学研究Ⅰ		2		
近世文学研究Ⅱ		2		
日本語学研究Ⅰ		2		12単位必修
日本語学研究Ⅱ		2		
近現代文学研究Ⅰ		2		
近現代文学研究Ⅱ		2		
仏教文学研究Ⅰ		2		
仏教文学研究Ⅱ		2		
現代文化研究Ⅰ		2		
現代文化研究Ⅱ		2		
演習（4単位）	必修	選必	選択	備考
日本文学演習AⅠ－Ⅰ		1		
日本文学演習AⅠ－Ⅱ		1		
日本文学演習AⅡ－Ⅰ		1		
日本文学演習AⅡ－Ⅱ		1		
日本文学演習AⅢ－Ⅰ		1		
日本文学演習AⅢ－Ⅱ		1		
日本文学演習AⅣ－Ⅰ		1		2単位必修
日本文学演習AⅣ－Ⅱ		1		
日本語学演習AⅠ		1		
日本語学演習AⅡ		1		
現代文化演習AⅠ		1		
現代文化演習AⅡ		1		
日本文学演習BⅠ－Ⅰ		1		
日本文学演習BⅠ－Ⅱ		1		
日本文学演習BⅡ－Ⅰ		1		

日本文学演習 BⅡ－Ⅱ		1		2 単位必修
日本文学演習 BⅢ－Ⅰ		1		
日本文学演習 BⅢ－Ⅱ		1		
日本文学演習 BⅣ－Ⅰ		1		
日本文学演習 BⅣ－Ⅱ		1		
日本語学演習 BⅠ		1		
日本語学演習 BⅡ		1		
現代文化演習 BⅠ		1		
現代文化演習 BⅡ		1		
卒業論文（8 単位）	必修	選必	選択	備考
卒業論文	8			
選択科目				
選択科目（28 単位）	必修	選必	選択	備考
中国文学史Ⅰ			2	
中国文学史Ⅱ			2	
日本語文法通説Ⅰ			2	
日本語文法通説Ⅱ			2	
漢文学Ⅰ			2	
漢文学Ⅱ			2	
古典芸能論Ⅰ			2	
古典芸能論Ⅱ			2	
日本語表現論Ⅰ			2	
日本語表現論Ⅱ			2	
写本講読Ⅰ			2	
写本講読Ⅱ			2	
日本文学情報処理Ⅰ			2	
日本文学情報処理Ⅱ			2	
古典文法基礎			2	
言語学概論Ⅰ			2	
言語学概論Ⅱ			2	
日本文学総合Ⅰ－Ⅰ			2	
日本文学総合Ⅰ－Ⅱ			2	
日本文学総合Ⅱ－Ⅰ			2	
日本文学総合Ⅱ－Ⅱ			2	
書道実習(一)ⅠA			1	
書道実習(一)ⅠB			1	
書道実習(二)ⅠA			1	
書道実習(二)ⅠB			1	
書道実習(三)ⅠA			1	
書道実習(三)ⅠB			1	
書道実習(四)ⅠA			1	
書道実習(四)ⅠB			1	
書道実習(五)ⅠA			1	
書道実習(五)ⅠB			1	
書道実習(六)ⅠA			1	
書道実習(六)ⅠB			1	
書道基礎実習ⅠA			1	
書道基礎実習ⅠB			1	

文学部 日本文学科 書道コース				
必修科目（58 単位）				
普通講義（20 単位）	必修	選必	選択	備考
基礎講読Ⅰ－Ⅰ	1			

基礎講読Ⅰ－Ⅱ	1			
基礎講読Ⅱ－Ⅰ	1			
基礎講読Ⅱ－Ⅱ	1			
書道概論Ⅰ	2			
書道概論Ⅱ	2			
日本文学概論Ⅰ		2		4 単位必修
日本文学概論Ⅱ		2		
日本語学概論Ⅰ		2		
日本語学概論Ⅱ		2		
現代文化概論Ⅰ		2		
現代文化概論Ⅱ		2		
日本語史Ⅰ		2		4 単位必修
日本語史Ⅱ		2		
日本文学史（古典）Ⅰ－Ⅰ		2		
日本文学史（古典）Ⅰ－Ⅱ		2		
日本文学史（近現代）Ⅱ－Ⅰ		2		
日本文学史（近現代）Ⅱ－Ⅱ		2		
日本書道史Ⅰ		2		4 単位必修
日本書道史Ⅱ		2		
中国書道史Ⅰ		2		
中国書道史Ⅱ		2		
講読（2 単位）	必修	選必	選択	備考
書論講読Ⅰ－Ⅰ		1		2 単位必修
書論講読Ⅰ－Ⅱ		1		
書論講読Ⅱ－Ⅰ		1		
書論講読Ⅱ－Ⅱ		1		
特殊講義（8 単位）	必修	選必	選択	備考
上代文学研究Ⅰ		2		8 単位必修
上代文学研究Ⅱ		2		
中古文学研究Ⅰ		2		
中古文学研究Ⅱ		2		
中世文学研究Ⅰ		2		
中世文学研究Ⅱ		2		
近世文学研究Ⅰ		2		
近世文学研究Ⅱ		2		
日本語学研究Ⅰ		2		
日本語学研究Ⅱ		2		
近現代文学研究Ⅰ		2		
近現代文学研究Ⅱ		2		
仏教文学研究Ⅰ		2		
仏教文学研究Ⅱ		2		
演習（4 単位）	必修	選必	選択	備考
書道演習AⅠ－Ⅰ		1		2 単位必修
書道演習AⅠ－Ⅱ		1		
書道演習AⅡ－Ⅰ		1		
書道演習AⅡ－Ⅱ		1		
書道演習AⅢ－Ⅰ		1		
書道演習AⅢ－Ⅱ		1		
書道演習BⅠ－Ⅰ		1		2 単位必修
書道演習BⅠ－Ⅱ		1		
書道演習BⅡ－Ⅰ		1		
書道演習BⅡ－Ⅱ		1		
書道演習BⅢ－Ⅰ		1		

書道演習 B Ⅲ—Ⅱ		1		
実習（16単位）	必修	選必	選択	備考
書道実習（一）Ⅰ A		1		16単位必修
書道実習（一）Ⅰ B		1		
書道実習（二）Ⅰ A		1		
書道実習（二）Ⅰ B		1		
書道実習（三）Ⅰ A		1		
書道実習（三）Ⅰ B		1		
書道実習（四）Ⅰ A		1		
書道実習（四）Ⅰ B		1		
書道実習（五）Ⅰ A		1		
書道実習（五）Ⅰ B		1		
書道実習（六）Ⅰ A		1		
書道実習（六）Ⅰ B		1		
書道基礎実習Ⅰ A		1		
書道基礎実習Ⅰ B		1		
書道制作Ⅰ A		1		
書道制作Ⅰ B		1		
書道制作Ⅱ A		1		
書道制作Ⅱ B		1		
書道制作Ⅲ A		1		
書道制作Ⅲ B		1		
卒業制作・卒業論文（8単位）	必修	選必	選択	備考
卒業制作		8		8単位必修
卒業論文		8		
選択科目				
選択科目（18単位）	必修	選必	選択	備考
中国文学史Ⅰ			2	
中国文学史Ⅱ			2	
日本語文法通説Ⅰ			2	
日本語文法通説Ⅱ			2	
漢文学Ⅰ			2	
漢文学Ⅱ			2	
書道美学Ⅰ			2	
書道美学Ⅱ			2	
古典芸能論Ⅰ			2	
古典芸能論Ⅱ			2	
日本語表現論Ⅰ			2	
日本語表現論Ⅱ			2	
写本講読Ⅰ			2	
写本講読Ⅱ			2	

社会福祉学部 社会福祉学科				
必修科目（24単位）	必修	選必	選択	備考
社会福祉原論Ⅰ	2			
社会福祉原論Ⅱ	2			
社会福祉史（外国史を含む）Ⅰ	2			
社会福祉史（外国史を含む）Ⅱ	2			
相談援助の基盤と専門職Ⅰ	2			
相談援助の基盤と専門職Ⅱ	2			
社会福祉学演習 A	2			
社会福祉学演習 B	2			
卒業論文	8			

選択科目（64単位）	必修	選必	選択	備考
公的扶助論Ⅰ			2	
公的扶助論Ⅱ			2	
地域福祉論Ⅰ			2	
地域福祉論Ⅱ			2	
ボランティア入門			2	
ボランティア演習			2	
保健医療サービスⅠ			2	
保健医療サービスⅡ			2	
青少年問題論			2	
比較臨床哲学			2	
児童福祉論Ⅰ			2	
児童福祉論Ⅱ			2	
障害者福祉論Ⅰ			2	
障害者福祉論Ⅱ			2	
高齢者福祉論Ⅰ			2	
高齢者福祉論Ⅱ			2	
社会保障論Ⅰ			2	
社会保障論Ⅱ			2	
社会政策論Ⅰ			2	
社会政策論Ⅱ			2	
女性労働論Ⅰ			2	
女性労働論Ⅱ			2	
介護技術の基礎知識Ⅰ			2	
介護技術の基礎知識Ⅱ			2	
社会・集団・家族心理学			2	
法学（国際法を含む）			4	
社会学Ⅰ			2	
社会学Ⅱ			2	
スクールソーシャルワーク論			2	
スクールソーシャルワーク演習			1	
スクールソーシャルワーク実習指導			2	
スクールソーシャルワーク実習			2	
社会福祉特論Ⅰ			4	
社会福祉特論Ⅱ			4	
相談援助の理論と方法Ⅰ			2	
相談援助の理論と方法Ⅱ			2	
相談援助の理論と方法Ⅲ			2	
相談援助の理論と方法Ⅳ			2	
社会調査の基礎Ⅰ			2	
社会調査の基礎Ⅱ			2	
福祉行財政と福祉計画Ⅰ			2	
福祉行財政と福祉計画Ⅱ			2	
福祉サービスの組織と経営			2	
人体の構造と機能及び疾病			2	
就労支援サービス			1	
権利擁護と成年後見制度			2	
更生保護制度			1	
相談援助実習指導Ⅰ			1	
相談援助実習指導Ⅱ			2	
相談援助演習Ⅰ			1	
相談援助演習Ⅱ			2	
相談援助演習Ⅲ			2	
相談援助実習			4	

社会福祉研究実習			3	
フィールドワーク演習			1	
フィールドワーク実習			1	
アドバンストフィールドワーク演習			1	
アドバンストフィールドワーク実習			1	
介護理論及び介護技術			2	
認知症の理解Ⅰ			2	
認知症の理解Ⅱ			2	
障害の医学的理解			2	

社会福祉学部 臨床心理学科				
必修科目 (18単位)	必修	選必	選択	備考
心理学的支援法	2			
臨床心理学概論	2			
発達心理学	2			
臨床心理学演習A	2			
臨床心理学演習B	2			
卒業研究	8			
選択科目 (70単位)	必修	選必	選択	備考
公認心理師の職責			2	
心理学研究法			2	
心理学統計法			2	
知覚・認知心理学			2	
心理学実験Ⅰ			2	
心理学実験Ⅱ			2	
学習・言語心理学			2	
感情・人格心理学			2	
神経・生理心理学			2	
社会・集団・家族心理学			2	
障害者・障害児心理学			2	
心理的アセスメント			2	
健康・医療心理学			2	
福祉心理学			2	
教育・学校心理学			2	
司法・犯罪心理学			2	
産業・組織心理学			2	
人体の構造と機能及び疾病			2	
関係行政論			2	
心理学的人間関係論			2	
心理演習			2	
心理実習			2	
青少年問題論			2	
比較臨床哲学			2	
精神疾患とその治療Ⅰ			2	
精神疾患とその治療Ⅱ			2	
精神保健Ⅰ			2	
精神保健Ⅱ			2	
精神科リハビリテーション学Ⅰ			2	
精神科リハビリテーション学Ⅱ			2	
精神保健福祉援助技術各論Ⅰ			2	
精神保健福祉援助技術各論Ⅱ			2	
精神保健福祉論Ⅰ			2	
精神保健福祉論Ⅱ			2	
精神保健福祉論Ⅲ			2	

精神保健福祉相談援助の基盤（専門）	2		
精神保健福祉援助演習Ⅰ	1		
精神保健福祉援助演習Ⅱ	2		
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	1		
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	2		
精神保健福祉実習	4		
マインドフルネス実践論	2		
社会福祉原論Ⅰ	2		
社会福祉原論Ⅱ	2		
社会保障論Ⅰ	2		
社会保障論Ⅱ	2		
福祉行財政と福祉計画Ⅰ	2		
福祉行財政と福祉計画Ⅱ	2		
保健医療サービスⅠ	2		
保健医療サービスⅡ	2		
障害者福祉論Ⅰ	2		
障害者福祉論Ⅱ	2		
高齢者福祉論Ⅰ	2		
高齢者福祉論Ⅱ	2		
児童福祉論Ⅰ	2		
児童福祉論Ⅱ	2		
相談援助の基盤と専門職Ⅰ	2		
相談援助の基盤と専門職Ⅱ	2		
社会調査の基礎Ⅰ	2		
社会調査の基礎Ⅱ	2		
相談援助の理論と方法Ⅰ	2		
相談援助の理論と方法Ⅱ	2		
相談援助の理論と方法Ⅲ	2		
相談援助の理論と方法Ⅳ	2		
福祉サービスの組織と経営	2		
更生保護制度	1		
就労支援サービス	1		
権利擁護と成年後見制度	2		
相談援助実習指導Ⅰ	1		
相談援助実習指導Ⅱ	2		
相談援助演習Ⅰ	1		
相談援助演習Ⅱ	2		
相談援助演習Ⅲ	2		
相談援助実習	4		
社会福祉特論Ⅰ	4		
社会福祉特論Ⅱ	4		
社会福祉研究実習	3		
障害者教育総論	2		
特別支援教育概論Ⅰ	2		
特別支援教育概論Ⅱ	2		
知的障害者の心理Ⅰ	2		
知的障害者の心理Ⅱ	2		
知的障害者の病理	2		
肢体不自由者の心理・生理・病理	2		
病弱者の心理・生理・病理	2		
知的障害者教育Ⅰ	2		
知的障害者教育Ⅱ	2		
知的障害者の言語障害指導	2		
特別支援教育指導法Ⅰ	2		

特別支援教育指導法Ⅱ			2	
肢体不自由者教育Ⅰ			2	
肢体不自由者教育Ⅱ			2	
病弱者教育Ⅰ			2	
病弱者教育Ⅱ			2	
視覚障害総論			2	
聴覚障害総論			2	
重複LD等教育総論			2	

社会福祉学部 児童福祉学科				
必修科目 (32単位)				
必修科目 (20単位)	必修	選必	選択	備考
社会福祉原論Ⅰ	2			
児童福祉論Ⅰ	2			
児童福祉論Ⅱ	2			
障害児保育	2			
保育内容総論	2			
児童栄養学 (食品学を含む)	2			
幼児理解の理論と方法	2			
子どもの保健	2			
総合ゼミ	2			
児童福祉研究	2			
選択必修科目 (12単位)	必修	選必	選択	備考
社会福祉原論Ⅱ		2		
保育原理		2		
保育者論		2		
教育原理		2		
解剖生理学Ⅰ		2		
解剖生理学Ⅱ		2		
保育相談支援		1		
子どもの観察と記録		2		
家庭支援論		2		
選択科目				
選択科目 (64単位)	必修	選必	選択	備考
乳児保育Ⅰ			2	
乳児保育Ⅱ			1	
教職概論 (初等)			2	
教育方法論 (初等)			2	
保育の計画と評価			2	
初等教育課程論			2	
心身の発達と学習過程			2	
社会的養護Ⅰ			2	
社会的養護Ⅱ			1	
子どもの理解と援助			1	
教育相談の理論と方法			2	
学校経営論 (初等)			2	
教育制度論 (初等)			2	
特別支援教育論 (初等)			2	
道徳教育の指導法 (初等)			2	
特別活動の指導法 (初等)			2	
総合的な学習の時間の指導法 (初等)			2	
生徒指導の理論及び方法 (進路指導を含む) (初等)			2	
観察実習			1	

	保育所実習指導Ⅰ			1	
	保育所実習Ⅰ			2	
	保育所実習指導Ⅱ			1	
	保育所実習Ⅱ			2	
	初等教育実習指導			1	
	初等教育実習			4	
	児童福祉施設等実習指導			1	
	児童福祉施設等実習			2	
感性 育成 支援 領域	保育内容Ⅱ（人間関係）			2	
	保育内容Ⅲ（環境）			2	
	保育内容Ⅳ（言葉）			2	
	保育内容Ⅴ（音楽）			2	
	保育内容Ⅵ（造形）			2	
	幼児と表現（音楽）			2	
	幼児と表現（造形）			2	
	幼児と表現（身体）			2	
	幼児と人間関係			1	
	幼児と環境			1	
	幼児と言葉			1	
	ピアノ演習Ⅰ			2	
	ピアノ演習Ⅱ			1	
	ピアノ演習Ⅲ			1	
健康 支援 領域	保育内容Ⅰ（健康）			2	
	幼児と健康			1	
	公衆衛生学Ⅰ			2	
	公衆衛生学Ⅱ			2	
	子どもの健康と安全			1	
	児童栄養学演習			2	
	看護学Ⅰ			2	
	看護学Ⅱ			2	
	看護実習Ⅰ（基礎技術）			1	
	看護実習指導			1	
	看護実習Ⅱ（臨床実習）			2	
	救急看護			2	
	救急看護実習			1	
	精神保健論			2	
	生化学概論			2	
	健康と薬			2	
	健康相談活動			2	
	学校保健			2	
	養護概論			2	
	小児保健			2	
家族 ・地域 支援 領域	子ども家庭支援の心理学			2	
	不登校論			2	
	青少年問題論			2	
	教育社会論（初等）			2	

必修区分				
全学部全学科（10単位）	必修	選必	選択	備考
基礎禅学	2			
人権総論	2			
英語Ⅰ	1			
英語Ⅱ	1			
アカデミック・スキル	1			
コミュニケーション・スキル	1			
キャリア・デザインⅢ	1			
キャリア・デザインⅣ	1			
選択区分				
文学部 仏教学科34単位、日本史学科38単位、日本文学科38単位	必修	選必	選択	備考
社会福祉学部 社会福祉学科26単位、臨床心理学科26単位、児童福祉学科18単位				
心理学概論			2	
禅とこころⅠ			2	
禅とこころⅡ			2	
自然科学概論Ⅰ（科学史）			4	
点字講座			2	
手話講座			2	
坐禅入門Ⅰ			2	
坐禅入門Ⅱ			2	
人と文化			2	
中国の歴史と地理Ⅰ			2	
中国の歴史と地理Ⅱ			2	
中国文学研究			2	
日本語（一）Ⅰ	2			留学生以外履修不可
日本語（一）Ⅱ	2			
日本語（二）Ⅰ	2			
日本語（二）Ⅱ	2			
日本事情Ⅰ—Ⅰ	2			
日本事情Ⅰ—Ⅱ	2			
単位互換科目Ⅰ			2	児童福祉学科履修不可
単位互換科目Ⅰ 2			2	
単位互換科目Ⅰ 3			2	
単位互換科目Ⅱ			4	
単位互換科目Ⅲ			1	
単位互換科目Ⅲ 2			1	
単位互換科目Ⅲ 3			1	
禅と書画芸術Ⅰ			2	
禅と書画芸術Ⅱ			2	
禅と東洋医学Ⅰ			2	
禅と東洋医学Ⅱ			2	
禅と茶道文化Ⅰ			2	
禅と茶道文化Ⅱ			2	
禅と華道文化Ⅰ			2	
禅と華道文化Ⅱ			2	
禅と造形芸術Ⅰ			2	
禅と造形芸術Ⅱ			2	
禅の悟りⅠ			2	
禅の悟りⅡ			2	
禅文化研究Ⅰ			2	

禅文化研究Ⅱ			2	
京都学概論Ⅰ			2	
京都学概論Ⅱ			2	
京都学研究Ⅰ－Ⅰ			2	
京都学研究Ⅰ－Ⅱ			2	
京都学研究Ⅱ－Ⅰ			2	
京都学研究Ⅱ－Ⅱ			2	
京都学研究Ⅲ－Ⅰ			2	
京都学研究Ⅲ－Ⅱ			2	
京の伝統産業			2	
京の食文化			2	
京の文化財探訪			2	
京の生活文化			2	
京の歴史文化の諸相			2	
General EnglishⅠ			1	
General EnglishⅡ			1	
English WorkshopⅠ			2	
English WorkshopⅡ			2	
Listening SkillsⅠ			1	
Listening SkillsⅡ			1	
Reading SkillsⅠ			1	
Reading SkillsⅡ			1	
Communicative EnglishⅠ			1	
Communicative EnglishⅡ			1	
英検２級コースⅠ			1	
英検２級コースⅡ			1	
TOEICコースⅠ			1	
TOEICコースⅡ			1	
時事英語Ⅰ			2	
時事英語Ⅱ			2	
長期留学（英語）			16	
短期留学（英語）			4	
ハングル（入門）Ⅰ			2	
ハングル（入門）Ⅱ			2	
韓国文化Ⅰ			2	
韓国文化Ⅱ			2	
ハングル実用会話Ⅰ			1	
ハングル実用会話Ⅱ			1	
短期留学（ハングル）			2	
中国語入門Ⅰ			1	
中国語入門Ⅱ			1	
中国語入門Ⅲ			1	
中国語入門Ⅳ			1	
中国理解Ⅰ			1	
中国理解Ⅱ			1	
中国語検定Ⅰ			1	
中国語検定Ⅱ			1	
中国文化論Ⅰ			2	
中国文化論Ⅱ			2	
中国語初級会話・作文Ⅰ			1	
中国語初級会話・作文Ⅱ			1	
中国語中級会話・作文Ⅰ			1	
中国語中級会話・作文Ⅱ			1	
長期留学（中国語）			32	

短期留学（中国語）			2	
体育実技Ⅰ			1	
体育実技Ⅱ			1	
体育実技Ⅲ			1	
体育実技Ⅳ			1	
体育実技Ⅴ			1	
体育実技Ⅵ			1	
体育実技Ⅶ			1	
体育実技Ⅷ			1	
体育実技Ⅸ			1	
体育実技Ⅹ			1	
体育実技ⅩⅠ			1	
体育実技ⅩⅡ			1	
体育実技ⅩⅢ			1	
体育実技ⅩⅣ			1	
体育実技ⅩⅤ			1	
体育実技ⅩⅥ			1	
体育実技ⅩⅦ			1	
体育実技ⅩⅧ			1	
体育実技ⅩⅨ			1	
スポーツ社会学			2	
健康学			2	
運動科学論Ⅰ			2	
運動科学論Ⅱ			2	
アダプテッド・エクササイズ論			2	
健康運動処方論			2	
健康運動実技指導論と実際Ⅰ			2	
健康運動実技指導論と実際Ⅱ			2	
エアロビクス・ダンスⅠ			1	
エアロビクス・ダンスⅡ			1	
ストレッチングの理論と実際Ⅰ			2	
ストレッチングの理論と実際Ⅱ			2	
筋力トレーニングの理論と実際			2	
丸ごと健康学			2	
スポーツ栄養学			2	
スポーツ心理学			2	
救命救急処置			1	
運動障害と予防			1	
体力測定と評価			1	
水泳・水中運動			1	
情報基礎			1	
情報と社会			2	
パーソナル・コンピュータ活用技術A			2	
パーソナル・コンピュータ活用技術B			2	
コンピュータ・ネットワーク入門			2	
キーボードタッチと文書作成			1	
表計算入門			1	
表計算中級			1	
プレゼンテーション実習			1	
世の中の仕組み			2	
仕事と現代社会			2	
インターンシップ			2	
インターンシップ（長期）			4	
課題解決プログラムⅠ			1	

課題解決プログラムⅡ			1	
学生デベロップメントゼミⅠ			1	
学生デベロップメントゼミⅡ			1	
社会に出るためにⅠ			1	
社会に出るためにⅡ			1	
社会に出るためにⅢ			2	
社会に出るためにⅣ			2	
キャリアとコミュニケーションⅠ			1	
キャリアとコミュニケーションⅡ			1	
民法			2	
行政法			2	
教員養成Ⅰ			2	
教員養成Ⅱ			2	
日本国憲法			2	

基礎教育科目〔総合科目群〕

	科目名	単位	仏教	日史	日文	日 文 書 道	社 福	臨 床	児 福
仏 教 学 科 提 供 科 目	禅学Ⅰ	2	×						
	禅学Ⅱ	2	×						
	漢文の基礎Ⅰ－Ⅰ	2	×						
	漢文の基礎Ⅰ－Ⅱ	2	×						
	日本の禅籍Ⅰ	2	×						
	日本の禅籍Ⅱ	2	×						
	漢詩入門Ⅰ	2	×						
	漢詩入門Ⅱ	2	×						
	東西の死生観Ⅰ	2	×						
	東西の死生観Ⅱ	2	×						
	仏教哲学の世界観Ⅰ	2	×						
	仏教哲学の世界観Ⅱ	2	×						
	臨床死生学論Ⅰ	2	×						
	臨床死生学論Ⅱ	2	×						
	禅のことばⅠ	2	×						
	禅のことばⅡ	2	×						
	哲学概論	4	×						
	サンスクリット語（初）	4	×						
	倫理学（専）	4	×						
	栄西と道元Ⅰ	2	×						
	栄西と道元Ⅱ	2	×						
	古代史概説	2		×					
	中世史概説	2		×					
	近世史概説	2		×					
	近現代史概説	2		×					
	東洋史概説Ⅰ	2		×					
	東洋史概説Ⅱ	2		×					
	西洋史概説Ⅰ	2		×					

日本史学科提供科目	西洋史概説Ⅱ	2		×					
	自然地理学Ⅰ	2		×					
	自然地理学Ⅱ	2		×					
	人文地理学Ⅰ	2		×					
	人文地理学Ⅱ	2		×					
	地誌学Ⅰ	2		×					
	地誌学Ⅱ	2		×					
	日本政治史Ⅰ	2		×					
	日本政治史Ⅱ	2		×					
	日本経済史Ⅰ	2		×					
	日本経済史Ⅱ	2		×					
	書誌学Ⅰ	2		×					
	書誌学Ⅱ	2		×					
	図書館概論	2		×					
	図書館制度・経営論	2		×					
	図書館情報技術論	2		×					
	政治学（国際政治を含む）Ⅰ	2		×					
	政治学（国際政治を含む）Ⅱ	2		×					
日本文学科提供科目	日本語史Ⅰ	2			×	×			
	日本語史Ⅱ	2			×	×			
	日本語表現論Ⅰ	2			×	×			
	日本語表現論Ⅱ	2			×	×			
	古典文法基礎	2			×				
	日本文学情報処理Ⅰ	2			×				
	日本文学情報処理Ⅱ	2			×				
	言語学概論Ⅰ	2			×				
	言語学概論Ⅱ	2			×				
	写本講読Ⅰ	2			×	×			
	写本講読Ⅱ	2			×	×			
	古典芸能論Ⅰ	2			×	×			
	古典芸能論Ⅱ	2			×	×			
	書道概論Ⅰ	2				×			
	書道概論Ⅱ	2				×			
社会福祉学科提供	女性労働論Ⅰ	2					×		
	女性労働論Ⅱ	2					×		
	福祉行財政と福祉計画Ⅰ	2					×	×	
	福祉行財政と福祉計画Ⅱ	2					×	×	
	福祉サービスの組織と経営	2					×	×	
	就労支援サービス	1					×	×	
	権利擁護と成年後見制度	2					×	×	
	更生保護制度	1					×	×	
	ボランティア入門	2					×		
	ボランティア演習	2					×		
	法学（国際法を含む）	4					×		

供 科 目									
	社会学Ⅰ	2					×		
	社会学Ⅱ	2					×		
	社会政策論Ⅰ	2					×		
臨 床 心 理 学 科 提 供 科 目	社会政策論Ⅱ	2					×		
	青少年問題論	2					×	×	×
	比較臨床哲学	2					×	×	
	障害者・障害児心理学	2						×	
	社会・集団・家族心理学	2					×	×	
	感情・人格心理学	2						×	
	臨床心理学概論	2						×	
	司法・犯罪心理学	2						×	
	教育・学校心理学	2						×	
	精神保健Ⅰ	2						×	×
	精神保健Ⅱ	2						×	×
	精神科リハビリテーション学Ⅰ	2						×	
	精神科リハビリテーション学Ⅱ	2						×	
	精神保健福祉援助技術各論Ⅰ	2							×
	精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	2						×	
	発達心理学	2						×	
	知的障害者教育Ⅰ	2						×	
	知的障害者教育Ⅱ	2						×	
	心理学的支援法	2						×	
	障害者教育総論	2						×	
	知的障害者の病理	2						×	
	肢体不自由者の心理・生理・病理	2						×	

別表第3（第11条の2関係）

教育職員免許状取得に関する科目				
〔教育の基礎的理解に関する科目等〕				
中学35単位・高校31単位	必修	選必	選択	備考
学校と教育の歴史	2			
教育原論	2			
教職概論（中等）	2			
学校経営論（中等）	2			
教育社会論（中等）			2	
教育制度論（中等）			2	
教育心理学（学習心理学を含む）	4			
特別支援教育論（中等）	2			
教育課程論	2			
道徳教育の指導法（中等）	2			中学免対応科目
総合的な学習の時間の指導法（中等）	2			
特別活動の指導法（中等）	2			

教育方法論（中等）	2			
生徒指導の理論及び方法（進路指導を含む）（中等）	2			
教育相談（カウンセリングを含む）	2			
教育実習（中学）		5		取得免許実習必修
教育実習（高校）		3		
教職実践演習（中・高）	2			
幼稚園25単位・養護31単位	必修	選必	選択	備考
教育原理	2			
教職概論（初等）	2			
学校経営論（初等）	2			
教育社会論（初等）			2	
教育制度論（初等）			2	
心身の発達と学習過程	2			
特別支援教育論（初等）	2			
初等教育課程論	2			
教育方法論（初等）	2			
教育相談の理論と方法	2			
幼児理解の理論と方法	2			幼稚園対応科目
初等教育実習指導	1			
初等教育実習	4			
教職実践演習（幼稚園）	2			
道徳教育の指導法（初等）	2			養護対応科目
特別活動の指導法（初等）	2			
総合的な学習の時間の指導法（初等）	2			
生徒指導の理論及び方法（進路指導を含む）（初等）	2			
養護実習指導	1			
養護実習	4			
教職実践演習（養護）	2			
〔教科及び教科の指導法に関する科目〕				
宗教（中学32単位・高校36単位）（仏教学科）	必修	選必	選択	備考
宗教学（専）	4			中免 必修20単位の他に4単位選択必修 高免 必修20単位の他に8単位選択必修
宗教史	4			
日本仏教の歴史Ⅰ		2		
日本仏教の歴史Ⅱ		2		
仏教とは何かⅠ	2			
仏教とは何かⅡ	2			
禅とは何かⅠ	2			
禅とは何かⅡ	2			
哲学概論	4			
禅宗日課經典の解説Ⅰ		2		
禅宗日課經典の解説Ⅱ		2		
栄西と道元Ⅰ		2		
栄西と道元Ⅱ		2		
日本禅宗の展開Ⅰ		2		
日本禅宗の展開Ⅱ		2		
中国の歴史と仏教Ⅰ		2		
中国の歴史と仏教Ⅱ		2		
宗教科教育法	4			

宗教科教育研究	4			
中学（社会48単位）・高校（地理歴史36単位・公民36単位）（日本史学科）	必修	選必	選択	備考
古代史概説	2			社会・地理歴史対応科目
中世史概説	2			
近世史概説	2			
近現代史概説	2			
東洋史概説Ⅰ	2			
東洋史概説Ⅱ	2			
西洋史概説Ⅰ	2			
西洋史概説Ⅱ	2			
古代史研究Ⅰ			2	
古代史研究Ⅱ			2	
中世史研究Ⅰ			2	
中世史研究Ⅱ			2	
近世史研究Ⅰ			2	
近世史研究Ⅱ			2	
近現代史研究Ⅰ			2	
近現代史研究Ⅱ			2	
明治維新史研究Ⅰ			2	
明治維新史研究Ⅱ			2	
戦国史研究Ⅰ			2	
戦国史研究Ⅱ			2	
人文地理学Ⅰ	2			
人文地理学Ⅱ	2			
自然地理学Ⅰ	2			
自然地理学Ⅱ	2			
地誌学Ⅰ	2			
地誌学Ⅱ	2			
政治学（国際政治を含む）Ⅰ	2			社会・公民対応科目
政治学（国際政治を含む）Ⅱ	2			
経済学（国際経済を含む）Ⅰ	2			
経済学（国際経済を含む）Ⅱ	2			
日本政治史Ⅰ	2			公民対応科目
日本政治史Ⅱ	2			
日本経済史Ⅰ	2			
日本経済史Ⅱ	2			
倫理学（専）		4		社会・公民対応科目 社会4単位 公民12単位必修
哲学概論		4		
日本仏教史Ⅰ		2		
日本仏教史Ⅱ		2		
社会科・地歴科教育法		4		当該教科法 4単位必修
社会科・公民科教育法		4		
社会科教育研究	4			
中学（国語32単位）・高校（国語36単位・書道32単位）（日本文学科）	必修	選必	選択	備考
日本文学概論Ⅰ	2			
日本文学概論Ⅱ	2			
日本語学概論Ⅰ	2			

日本語学概論Ⅱ	2			国語対応科目
言語学概論Ⅰ	2			
言語学概論Ⅱ	2			
日本語学研究Ⅰ			2	
日本語学研究Ⅱ			2	
国語科教育法	4			国語対応科目
国語科教育研究	4			
書道基礎実習ⅠA	2			中学免対応科目
書道基礎実習ⅠB	2			
書道美学Ⅰ	2			書道対応科目
書道美学Ⅱ	2			
書道科教育法	4			
書道実習(一)ⅠA		1		書道対応科目 10単位必修
書道実習(一)ⅠB		1		
書道実習(二)ⅠA		1		
書道実習(二)ⅠB		1		
書道実習(三)ⅠA		1		
書道実習(三)ⅠB		1		
書道実習(四)ⅠA		1		
書道実習(四)ⅠB		1		
書道実習(五)ⅠA		1		
書道実習(五)ⅠB		1		
書道制作ⅠA		1		
書道制作ⅠB		1		
書道制作ⅡA		1		
書道制作ⅡB		1		
書道制作ⅢA		1		
書道制作ⅢB		1		
日本書道史Ⅰ		2		書道対応科目 4単位必修
日本書道史Ⅱ		2		
中国書道史Ⅰ		2		
中国書道史Ⅱ		2		
漢文学Ⅰ		2		国語 4単位必修 書道 漢文学4単位必修
漢文学Ⅱ		2		
中国文学史Ⅰ		2		
中国文学史Ⅱ		2		
日本文学史(古典)Ⅰ—Ⅰ			2	国語 4単位必修
日本文学史(古典)Ⅰ—Ⅱ			2	
日本文学史(近現代)Ⅱ—Ⅰ			2	
日本文学史(近現代)Ⅱ—Ⅱ			2	
日本語文法通説Ⅰ			2	当該教科対応の 選択必修・選択科 目の中から 中免
日本語文法通説Ⅱ			2	
上代文学研究Ⅰ			2	
上代文学研究Ⅱ			2	
中古文学研究Ⅰ			2	
中古文学研究Ⅱ			2	
中世文学研究Ⅰ			2	
中世文学研究Ⅱ			2	
			2	

近世文学研究Ⅰ			2	2単位必修 高免 国語8単位 書道2単位必修
近世文学研究Ⅱ			2	
近現代文学研究Ⅰ			2	
近現代文学研究Ⅱ			2	
仏教文学研究Ⅰ			2	
仏教文学研究Ⅱ			2	
高校（公民36単位）（社会福祉学科）	必修	選必	選択	備考
法学（国際法を含む）	4			
社会政策論Ⅰ	2			
社会政策論Ⅱ	2			
社会学Ⅰ	2			
社会学Ⅱ	2			
地域福祉論Ⅰ	2			
地域福祉論Ⅱ	2			
公的扶助論Ⅰ	2			
公的扶助論Ⅱ	2			
哲学概論	4			
倫理学（専）	4			
社会科・公民科教育法	4			
社会科教育研究	4			
福祉（高校47単位）（社会福祉学科・臨床心理学科）	必修	選必	選択	備考
社会福祉原論Ⅰ	2			
社会福祉原論Ⅱ	2			
社会保障論Ⅰ			2	
社会保障論Ⅱ			2	
高齢者福祉論Ⅰ	2			
高齢者福祉論Ⅱ	2			
児童福祉論Ⅰ	2			
児童福祉論Ⅱ	2			
障害者福祉論Ⅰ	2			
障害者福祉論Ⅱ	2			
相談援助の基盤と専門職Ⅰ	2			
相談援助の基盤と専門職Ⅱ	2			
相談援助の理論と方法Ⅰ			2	
相談援助の理論と方法Ⅱ			2	
相談援助の理論と方法Ⅲ			2	
相談援助の理論と方法Ⅳ			2	
社会調査の基礎Ⅰ			2	
社会調査の基礎Ⅱ			2	
介護理論及び介護技術	2			
相談援助実習	4			
相談援助演習Ⅰ	1			
人体の構造と機能及び疾病	2			
介護技術の基礎知識Ⅰ	2			
介護技術の基礎知識Ⅱ	2			
心理学概論	2			
心理学的人間関係論	2			

認知症の理解Ⅰ	2			
認知症の理解Ⅱ	2			
障害の医学的理解	2			
福祉科教育法	4			
〔領域及び保育内容の指導法に関する科目〕				
幼稚園20単位（児童福祉学科）	必修	選必	選択	備考
幼児と健康	1			
幼児と人間関係			1	
幼児と環境			1	
幼児と言葉	1			
幼児と表現（造形）	2			
幼児と表現（身体）			2	
幼児と表現（音楽）	2			
保育内容総論	2			
保育内容Ⅰ（健康）	2			
保育内容Ⅱ（人間関係）	2			
保育内容Ⅲ（環境）	2			
保育内容Ⅳ（言葉）	2			
保育内容Ⅴ（音楽）	2			
保育内容Ⅵ（造形）	2			
〔養護に関する科目〕				
養護31単位（児童福祉学科）	必修	選必	選択	備考
公衆衛生学Ⅰ	2			
公衆衛生学Ⅱ	2			
学校保健	2			
小児保健			2	
養護概論	2			
健康相談活動	2			
児童栄養学（食品学を含む）	2			
児童栄養学演習			2	
解剖生理学Ⅰ	2			
解剖生理学Ⅱ	2			
健康と薬	2			
生化学概論			2	
精神保健論	2			
看護学Ⅰ	2			
看護学Ⅱ	2			
看護実習Ⅰ（基礎技術）	1			
看護実習指導	1			
看護実習Ⅱ（臨床実習）	2			
救急看護	2			
救急看護実習	1			
〔大学が独自に設定する科目〕				
中学校・高等学校	必修	選必	選択	備考
同和教育論	2			
幼稚園	必修	選必	選択	備考
家庭支援論			2	
保育相談支援			1	
子どもの観察と記録			2	

不登校論			2	
〔第66条の6に定める科目〕				
幼稚園・中学校・高等学校・養護	必修	選必	選択	備考
日本国憲法	2			
丸ごと健康学	2			
体育実技Ⅰ		1		1科目必修
体育実技Ⅱ		1		
体育実技Ⅲ		1		
体育実技Ⅳ		1		
体育実技Ⅴ		1		
体育実技Ⅵ		1		
体育実技Ⅶ		1		
体育実技Ⅷ		1		
体育実技Ⅸ		1		
体育実技Ⅹ		1		
体育実技ⅩⅠ		1		
体育実技ⅩⅡ		1		
体育実技ⅩⅢ		1		
体育実技ⅩⅣ		1		
体育実技ⅩⅤ		1		
体育実技ⅩⅥ		1		
体育実技ⅩⅦ		1		
体育実技ⅩⅧ		1		
体育実技ⅩⅨ		1		
英語Ⅰ	1			
英語Ⅱ	1			
情報基礎	1			
表計算入門		1		1科目必修
表計算中級		1		
パーソナル・コンピュータ活用技術A		2		
パーソナル・コンピュータ活用技術B		2		
コンピュータ・ネットワーク入門		2		
キーボードタッチと文書作成		1		
〔特別支援教育に関する科目〕				
31単位（臨床心理学科）	必修	選必	選択	備考
障害者教育総論		2		4単位必修
特別支援教育概論Ⅰ		2		
特別支援教育概論Ⅱ		2		
知的障害者の心理Ⅰ		2		2単位必修
知的障害者の心理Ⅱ		2		
知的障害者の病理	2			
肢体不自由者の心理・生理・病理	2			
病弱者の心理・生理・病理	2			
知的障害者教育Ⅰ		2		2単位必修
知的障害者教育Ⅱ		2		
知的障害者の言語障害指導			2	
特別支援教育指導法Ⅰ		2		2単位必修
特別支援教育指導法Ⅱ		2		
肢体不自由者教育Ⅰ		2		2単位必修

肢体不自由者教育Ⅱ		2		
病弱者教育Ⅰ		2		2 単位必修
病弱者教育Ⅱ		2		
視覚障害総論	2			
聴覚障害総論	2			
重複LD等教育総論	2			
特別支援学校教育実習の研究	2			
特別支援学校教育実習	3			

別表第4（第12条関係）

〔学校図書館司書教諭資格に関する科目〕（10単位）				
授業科目	必修	選必	選択	備考
学校経営と学校図書館	2			
学習指導と学校図書館	2			
情報メディアの活用	2			
学校図書館メディアの構成	2			
読書と豊かな人間性	2			

別表第5 削除

別表第6（第13条の2関係）

社会福祉士受験資格に関する科目（69単位以上）						
指定科目	時間	授業科目	必修	選必	選択	備考
人体の構造と機能及び疾病	30	人体の構造と機能及び疾病		2		2 または 4 単位 選択必修
心理学理論と心理的支援	30	心理学概論		2		
社会理論と社会システム	30	社会学Ⅰ 社会学Ⅱ		2 2		
社会保障	60	社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ	2 2			各科目の出席 時間が、定めら れた時間数の 3分の2（相談 援助実習のみ 5分の4）に満 たない場合、当 該科目の単位 認定は行わな い。
社会調査の基礎	30	社会調査の基礎Ⅰ 社会調査の基礎Ⅱ	2 2			
相談援助の基盤と専門職	60	相談援助の基盤と専門職Ⅰ 相談援助の基盤と専門職Ⅱ	2 2			
相談援助の理論と方法	120	相談援助の理論と方法Ⅰ 相談援助の理論と方法Ⅱ 相談援助の理論と方法Ⅲ 相談援助の理論と方法Ⅳ	2 2 2 2			
地域福祉の理論と方法	60	地域福祉論Ⅰ 地域福祉論Ⅱ	2 2			
福祉行財政と福祉計画	30	福祉行財政と福祉計画Ⅰ 福祉行財政と福祉計画Ⅱ	2 2			
福祉サービスの組織と経営	30	福祉サービスの組織と経営	2			
現代社会と福祉	60	社会福祉原論Ⅰ 社会福祉原論Ⅱ	2 2			
高齢者に対する支援と介護 保険制度	60	高齢者福祉論Ⅰ 高齢者福祉論Ⅱ	2 2			
障害者に対する支援と障害 自立支援制度	30	障害者福祉論Ⅰ	2			

		障害者福祉論Ⅱ	2			
児童や家庭に対する支援と 児童・家庭福祉制度	30	児童福祉論Ⅰ 児童福祉論Ⅱ	2 2			
低所得者に対する支援と生 活保護制度	30	公的扶助論Ⅰ 公的扶助論Ⅱ	2 2			
保健医療サービス	30	保健医療サービスⅠ 保健医療サービスⅡ	2 2			
就労支援サービス	15	就労支援サービス		1		
権利擁護と成年後見制度	30	権利擁護と成年後見制度		2		1 科目 選択必修
更生保護制度	15	更生保護制度		1		
相談援助演習	150	相談援助演習Ⅰ 相談援助演習Ⅱ 相談援助演習Ⅲ	1 2 2			
相談援助実習指導	90	相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ	1 2			
相談援助実習	180	相談援助実習	4			

別表第7（第14条関係）

博物館学芸員資格に関する科目（31単位）					
法定科目	授業科目	必修	選必	選択	備考
生涯学習概論	生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ	2 2			
博物館概論	博物館概論	2			
博物館経営論	博物館経営論	2			
博物館資料論	博物館資料論	2			
博物館資料保存論	博物館資料保存論	2			
博物館展示論	博物館展示論	2			
博物館教育論	博物館教育論	2			
博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論	2			
博物館実習	博物館実習	3			
文化史	古文書学 古文書学実習 古代史研究Ⅰ 古代史研究Ⅱ 中世史研究Ⅰ 中世史研究Ⅱ 近世史研究Ⅰ 近世史研究Ⅱ 近現代史研究Ⅰ 近現代史研究Ⅱ			2 1 2 2 2 2 2 2 2 2	
美術史	美術史学概論Ⅰ 美術史学概論Ⅱ 美術史実習Ⅰ 美術史実習Ⅱ 美術史研究Ⅰ 美術史研究Ⅱ 仏教美術史Ⅰ 仏教美術史Ⅱ			2 2 1 1 2 2 2 2	10単位

考古学	考古学概論Ⅰ			2	
	考古学概論Ⅱ			2	
	考古学実習Ⅰ			1	
	考古学実習Ⅱ			1	
	考古学研究Ⅰ			2	
	考古学研究Ⅱ			2	
	仏教考古学Ⅰ			2	
	仏教考古学Ⅱ			2	
民俗学	民俗学概論Ⅰ			2	
	民俗学概論Ⅱ			2	
	民俗学実習Ⅰ			1	
	民俗学実習Ⅱ			1	
	民俗学研究Ⅰ			2	
	民俗学研究Ⅱ			2	
	仏教民俗学Ⅰ			2	
	仏教民俗学Ⅱ			2	

別表第8（第15条関係）

妙心寺派教師資格に関する科目等（34単位）					
授業科目	必修	選必	選択	備考	
禅とは何かⅠ	2				
禅とは何かⅡ	2				
仏教とは何かⅠ	2				
仏教とは何かⅡ	2				
禅宗日課經典の解説Ⅰ	2				
禅宗日課經典の解説Ⅱ	2				
仏教の戒律	4				
人権総論	2				
実践禅学Ⅰ－Ⅰ			1	4 単位	
実践禅学Ⅰ－Ⅱ			1		
実践禅学Ⅱ－Ⅰ			1		
実践禅学Ⅱ－Ⅱ			1		
接心Ⅰ			1		
接心Ⅱ			1		
漢詩入門Ⅰ			2	8 単位	
漢詩入門Ⅱ			2		
中国禅宗の歴史Ⅰ			2		
中国禅宗の歴史Ⅱ			2		
日本禅宗の展開Ⅰ			2		
日本禅宗の展開Ⅱ			2		
哲学概論			4	4 単位	
倫理学（専）			4		
高齢者福祉論Ⅰ			2		
高齢者福祉論Ⅱ			2		
児童福祉論Ⅰ			2		
児童福祉論Ⅱ			2		
地域福祉論Ⅰ			2		
地域福祉論Ⅱ			2		
精神保健Ⅰ			2		

精神保健Ⅱ			2	
臨床死生学論Ⅰ			2	
臨床死生学論Ⅱ			2	
臨床心理学概論			2	

別表第9（第15条の2関係）

図書館司書資格に関する科目（28単位）						
法定科目		授業科目	必修	選必	選択	備考
甲群	基礎科目	生涯学習概論Ⅰ	2			
		生涯学習概論Ⅱ	2			
		図書館概論	2			
		図書館制度・経営論	2			
		図書館情報技術論	2			
	図書館サービスに関する科目	図書館サービス論	2			
		情報サービス概説	2			
		児童サービス論	2			
		情報サービス演習	2			
	図書館情報資源に関する科目	図書館情報資源概論	2			
		資料組織概説	2			
		資料組織演習	2			
乙群		図書及び図書館史			2	4単位
		図書館特論			2	
		図書館情報資源特論			2	
		図書館総合演習			2	

別表第10（第15条の3関係）

精神保健福祉士受験資格に関する科目（70単位以上）						
指定科目	時間	授業科目	必修	選必	選択	備考
人体の構造と機能及び疾病	30	人体の構造と機能及び疾病		2		2または4単位 選択必修
心理学理論と心理的支援	30	心理学概論		2		
社会理論と社会システム	30	社会学Ⅰ 社会学Ⅱ		2 2		
現代社会と福祉	60	社会福祉原論Ⅰ 社会福祉原論Ⅱ	2 2			各科目の出席時間が、定められた時間数の3分の2（精神保健福祉援助実習のみ5分の4）に満たない場合、当該科目の単位認定は行わない。
地域福祉の理論と方法	60	地域福祉論Ⅰ 地域福祉論Ⅱ	2 2			
社会保障	60	社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ	2 2			
低所得者に対する支援と生活保護制度	30	公的扶助論Ⅰ 公的扶助論Ⅱ	2 2			
福祉行財政と福祉計画	30	福祉行財政と福祉計画Ⅰ 福祉行財政と福祉計画Ⅱ	2 2			
保健医療サービス	30	保健医療サービスⅠ	2			

		保健医療サービスⅡ	2			
権利擁護と成年後見制度	30	権利擁護と成年後見制度	2			演習・実習科目の履修定員は20名とする。 精神保健福祉援助演習Ⅰ、精神保健福祉援助実習指導Ⅰは実習前年度に、精神保健福祉援助演習Ⅱ、精神保健福祉援助実習指導Ⅱ、精神保健福祉実習は最終学年に履修するものとする。
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	30	障害者福祉論Ⅰ	2			
		障害者福祉論Ⅱ	2			
精神疾患とその治療	60	精神疾患とその治療Ⅰ	2			
		精神疾患とその治療Ⅱ	2			
精神保健の課題と支援	60	精神保健Ⅰ	2			
		精神保健Ⅱ	2			
精神保健福祉の理論と相談援助の展開	120	精神科リハビリテーション学Ⅰ	2			
		精神科リハビリテーション学Ⅱ	2			
		精神保健福祉援助技術各論Ⅰ	2			
		精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	2			
精神保健福祉に関する制度とサービス	60	精神保健福祉論Ⅰ	2			
		精神保健福祉論Ⅱ	2			
精神障害者の生活支援システム	30	精神保健福祉論Ⅲ	2			
精神保健福祉相談援助の基盤（基礎）	30	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	2			
		相談援助の基盤と専門職Ⅱ	2			
精神保健福祉相談援助の基盤（専門）	30	精神保健福祉相談援助の基盤（専門）	2			
精神保健福祉援助演習（基礎）	30	精神保健福祉援助演習Ⅰ	1			
精神保健福祉援助演習（専門）	60	精神保健福祉援助演習Ⅱ	2			
精神保健福祉援助実習指導	90	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	1			
		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	2			
精神保健福祉援助実習	210	精神保健福祉実習	4			

別表第11（第15条の4関係）

認定心理士資格に関する科目（36単位）						
授業科目			必修	選必	選択	備考
基礎科	領域 a	心理学概論	2			
		臨床心理学概論	2			
	領域 b	心理学研究法	2			
		心理学統計法	2			
		心理的アセスメント	2			

目 選 択 科 目	領域 c	心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ	2 2				
	領域 d	知覚・認知心理学 学習・言語心理学			2 2	d～hの 5領域か ら3領域 以上各4 単位	3領域12 単位を含 み24単位 以上
	領域 e	神経・生理心理学			2		
	領域 f	発達心理学 教育・学校心理学 教育心理学（学習心理学を含む）			2 2 4		
	領域 g	司法・犯罪心理学 心理学的支援法 障害者・障害児心理学 感情・人格心理学 健康・医療心理学 福祉心理学			2 2 2 2 2 2		
	領域 h	社会・集団・家族心理学 心理学的人間関係論 産業・組織心理学			2 2 2		
	その他	卒業研究（8単位のうち4単位を認定する）			4		

別表第12（第15の5関係）

健康運動実践指導者資格に関する科目（36単位）				
授業科目	必修	選必	選択	備考
健康学	2			
運動科学論Ⅰ	2			
運動科学論Ⅱ	2			
アダプテッド・エクササイズ論	2			
健康運動処方論	2			
健康運動実技指導論と実際Ⅰ	2			
健康運動実技指導論と実際Ⅱ	2			
エアロビクス・ダンスⅠ	2			
エアロビクス・ダンスⅡ	2			
ストレッチングの理論と実際Ⅰ	2			
ストレッチングの理論と実際Ⅱ	2			
筋力トレーニングの理論と実際	2			
丸ごと健康学	2			
スポーツ栄養学	2			
スポーツ心理学	2			
救命救急処置	1			
運動障害と予防	1			
体力測定と評価	1			
水泳・水中運動	1			

別表第13（第15条の6関係）

区分	厚生労働省告示による授業科目					本学の開設授業科目（82単位）				
	系列	教科目	授業	設定 単位	設置 単位	授業科目	授業	時 間	単 位	履修 単位

			形態	数	数		形態		数	数
告示による教科目	教養科目	外国語、体育以外の科目	不問	6以上	10単位以上	人権総論	講義	30	2	12単位
						基礎禅学	講義	30	2	
						日本国憲法	講義	30	2	
		外国語	演習	2以上		情報基礎	演習	30	1	
						英語Ⅰ	演習	30	1	
						英語Ⅱ	演習	30	1	
		体育	講義 実技	1		丸ごと健康学	講義	30	2	
1	体育実技Ⅹ			実技	30	1				
	保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2		保育原理	講義	30	2	
		教育原理	講義	2		教育原理	講義	30	2	
		子ども家庭福祉	講義	2		児童福祉論Ⅰ	講義	30	2	
		社会福祉	講義	2		社会福祉原論Ⅰ	講義	30	2	
		子ども家庭支援論	講義	2		家庭支援論	講義	30	2	
		社会的養護Ⅰ	講義	2		社会的養護Ⅰ	講義	30	2	
		保育者論	講義	2		保育者論	講義	30	2	
	保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	講義	2		幼児理解の理論と方法	講義	30	2	
		子ども家庭支援の心理学	講義	2		子ども家庭支援の心理学	講義	30	2	
		子どもの理解と援助	演習	1		子どもの理解と援助	演習	30	1	
		子どもの保健	講義	2		子どもの保健	講義	30	2	
		子どもの食と栄養	演習	2		児童栄養学演習	演習	60	2	
		保育の計画と評価	講義	2		保育の計画と評価	講義	30	2	
		保育内容総論	演習	1		保育内容総論	演習	60	2	
						保育内容Ⅰ（健康）	演習	60	2	

告示別表第1 による 教科目 (必修 科目)	保育の 内容・ 方法に 関する 科目	保育内容演習	演習	5	51単 位	保育内容Ⅱ（人間関係）	演習	60	2	61単 位
						保育内容Ⅲ（環境）	演習	60	2	
						保育内容Ⅳ（言葉）	演習	60	2	
						保育内容Ⅴ（音楽）	演習	60	2	
						保育内容Ⅵ（造形）	演習	60	2	
		保育内容の理解と方法	演習	4		幼児と表現（音楽）	演習	60	2	
						幼児と表現（造形）	演習	60	2	
						幼児と表現（身体）	演習	60	2	
		乳児保育Ⅰ	講義	2		乳児保育Ⅰ	講義	30	2	
		乳児保育Ⅱ	演習	1		乳児保育Ⅱ	演習	30	1	
		子どもの健康と安全	演習	1		子どもの健康と安全	演習	30	1	
		障害児保育	演習	2		障害児保育	演習	60	2	
		社会的養護Ⅱ	演習	1		社会的養護Ⅱ	演習	30	1	
		子育て支援	演習	1		保育相談支援	演習	30	1	
	保育実 習	保育実習Ⅰ	実習	4		保育所実習Ⅰ	実習	80	2	
						児童福祉施設等実習	実習	80	2	
		保育実習指導Ⅰ	演習	2		保育所実習指導Ⅰ	演習	30	1	
						児童福祉施設等実習指導	演習	30	1	
	総合演 習	保育実践演習	演習	2		総合ゼミ	演習	60	2	
告示別表第2	保育の本質・目的に関する科目					社会福祉原論Ⅱ	講義	30	2	
						児童福祉論Ⅱ	講義	30	2	
						教職概論（初等）	講義	30	2	
						児童栄養学（食品学を含む）	講義	30	2	
	保育の対象の理解に関する科目					心身の発達と学習過程	講義	30	2	

による 教科目 (選択 必修科 目)			15単 位以 上	18単 位以 上	教育相談の理論と 方法	講 義	30	2	6 単 位以 上
					初等教育課程論	講 義	30	2	
					教育方法論（初等）	講 義	30	2	
					幼児と健康	演 習	30	1	
					幼児と人間関係	演 習	30	1	
					幼児と環境	演 習	30	1	
					幼児と言葉	演 習	30	1	
	保育実 習	保育実習Ⅱ又は保育所実習Ⅲ	実習	2	保育所実習Ⅱ	実 習	80	2	3 単 位
		保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育所実習指導Ⅱ	演 習	30	1	

別表第14（第15条の7関係）

スクールソーシャルワーカーに関する科目（15単位以上）					
専門科目		必修	選必	選択	備考
専 門 科 目	スクールソーシャルワーク論	2			
	スクールソーシャルワーク実習指導	2			
	スクールソーシャルワーク演習	1			
	スクールソーシャルワーク実習	2			
教 育 関 連 科 目	教育制度論（中等）			2	
	学校経営論（中等）			2	1科目必修
	教育社会論（中等）			2	
	教育心理学（学習心理学を含む）			4	
追 加 科 目	生徒指導の理論及び方法（進路指導を含む）（中等）			2	1科目必修
	教育相談（カウンセリングを含む）			2	
	精神保健Ⅰ		2		社会福祉士資格 取得者必修
	精神保健Ⅱ		2		
	児童福祉論Ⅰ		2		精神保健福祉士 資格取得者必修
	児童福祉論Ⅱ		2		

別表第15（第15条の8関係）

宗教文化士受験資格に関する科目（16単位）					
授業科目		必修	選必	選択	備考
到 達 目	禅と茶道文化Ⅰ			2	
	禅と茶道文化Ⅱ			2	
	禅と華道文化Ⅰ			2	
	禅と華道文化Ⅱ			2	
	禅と造形芸術Ⅰ			2	
	禅と造形芸術Ⅱ			2	
	禅と書画芸術Ⅰ			2	
	禅と書画芸術Ⅱ			2	2単位

標 1	禅の悟りⅠ			2		16単位
	禅の悟りⅡ			2		
	禅文化研究Ⅰ			2		
	禅文化研究Ⅱ			2		
	仏教哲学の世界観Ⅰ			2		
	仏教哲学の世界観Ⅱ			2		
到達 目標 2	基礎禅学			2	2 単位	16単位
	日本の禅籍Ⅰ			2		
	日本の禅籍Ⅱ			2		
	禅学Ⅰ			2		
	禅学Ⅱ			2		
	栄西と道元Ⅰ			2		
	栄西と道元Ⅱ			2		
到達 目標 3	哲学概論			4		
	社会学Ⅰ			2	2 単位	16単位
	社会学Ⅱ			2		
	東西の死生観Ⅰ			2		
	東西の死生観Ⅱ			2		
	臨床死生学論Ⅰ			2		
	臨床死生学論Ⅱ			2		

別表第16（第15条の9 関係）

公認心理師受験資格に関する科目（52単位）				
授業科目	必修	選必	選択	備考
公認心理師の職責	2			心理演習・実習の履修定員は15名とする。 心理演習は、公認心理師の職責、臨床心理学概論、神経・生理心理学、社会・集団・家族心理学、発達心理学、心理的アセスメント、心理学的支援法、精神疾患とその治療Ⅰを演習履修前年度までに履修するものとする。 心理実習は80時間以上とし、心理演習を実習前年度までに履修するものとする。
心理学概論	2			
臨床心理学概論	2			
心理学研究法	2			
心理学統計法	2			
心理学実験Ⅰ	2			
心理学実験Ⅱ	2			
知覚・認知心理学	2			
学習・言語心理学	2			
感情・人格心理学	2			
神経・生理心理学	2			
社会・集団・家族心理学	2			
発達心理学	2			
障害者・障害児心理学	2			
心理的アセスメント	2			
心理学的支援法	2			
健康・医療心理学	2			
福祉心理学	2			
教育・学校心理学	2			
司法・犯罪心理学	2			
産業・組織心理学	2			
人体の構造と機能及び疾病	2			

精神疾患とその治療 I	2			
関係行政論	2			
心理演習	2			
心理実習	2			